

資料目次

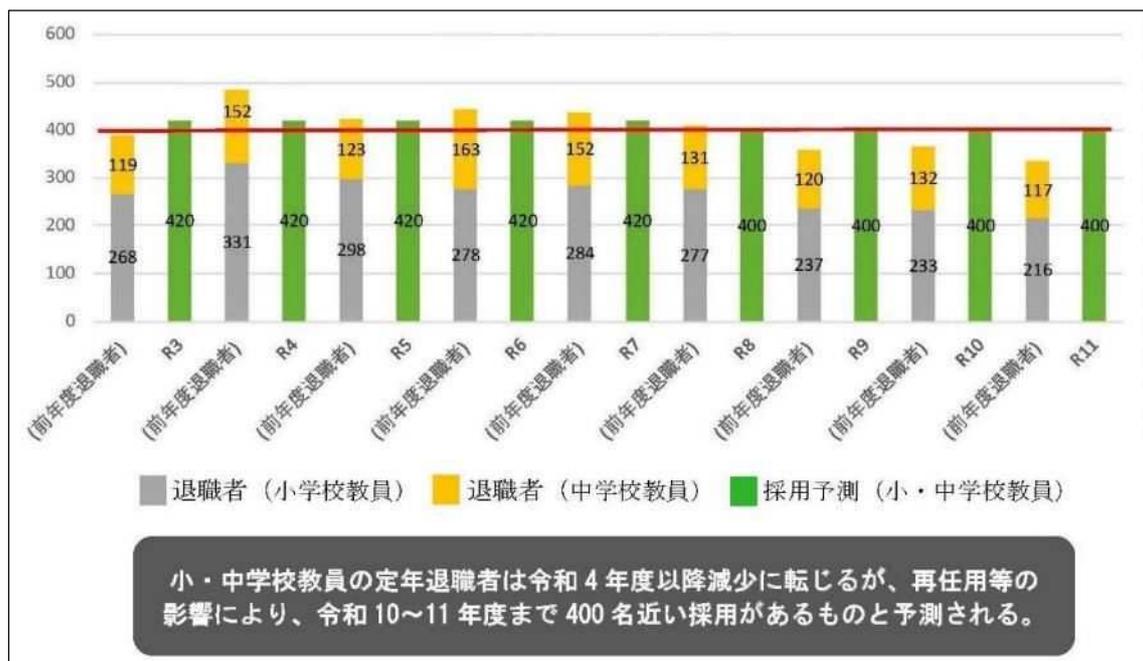
資料 1	熊本県・市公立学校教員（小・中・特別支援・養護） 採用数の推移	P. 3
資料 2	熊本県・市の公立小・中学校教員の定年退職予定者数 から見た採用予測	P. 3
資料 3	熊本県・市教員採用試験（小・中・養護）合格者に 占める本学出身者の割合	P. 4
資料 4	本学部卒業者の課程別教員就職先（H28.3～R2.3卒平均）	P. 5
資料 5	九州・沖縄地区の公立小・中学校教員需要推計	P. 5
資料 6	本学部卒業者（新卒）の教員就職状況 （平成28年3月卒～令和2年3月卒）	P. 6
資料 7	本学部卒業者（新卒）の課程別教員就職率 （平成28年3月卒～令和2年3月卒平均）	P. 6
資料 8	本学部小・中学校課程卒業者の教員就職先（学校種） （平成28年3月卒～令和2年3月卒平均）	P. 7
資料 9	課程編成の変更	P. 7
資料 10	科目区分一覧	P. 8
資料 11-1	小学校専攻の科目構成、単位数、開講年次等	P. 8
資料 11-2	教科に関する専攻（共通）の科目構成、 単位数、開講年次等	P. 11
資料 12	特別支援教育コースの科目構成、単位数、開講年次等	P. 21
資料 13	養護教育コースの科目構成、単位数、開講年次等	P. 22
資料 14	各コース・専攻における「大学が独自に設定する科目」 の位置づけ	P. 24
資料 15	各コース・専攻における授業内容等の工夫	P. 24
資料 16	初等・中等教育コースのカリキュラムマップ	P. 29
資料 17	特別支援教育コースのカリキュラムマップ	P. 32
資料 18	養護教育コースのカリキュラムマップ	P. 33
資料 19	教養教育科目の各科目群の実施方針	P. 34
資料 20	教育学部における教養教育の卒業要件単位	P. 34
資料 21	各分野・講座の教員配置	P. 35
資料 22	国立大学法人熊本大学教員選考基準	P. 36
資料 23	教育学部及び教育学研究科の教員選考基準	P. 38
資料 24	各分野・講座の教員の年齢構成（完成時：令和8年3月）	P. 44
資料 25	初等・中等教育コース小学校専攻履修モデル	P. 45

資料 26	初等・中等教育コース実技系専攻履修モデル	P. 46
資料 27	特別支援教育コース履修モデル	P. 47
資料 28	時間割	P. 48
資料 29	熊本大学黒髪北地区の施設配置図	P. 52
資料 30	教育学部各棟の教室配置	P. 54
資料 31	学部で共同管理する教室の設備・収容定員	P. 72
資料 32	各コース・専攻の試験日程・募集枠ごとの募集人員	P. 73
資料 33	学校推薦型選抜Ⅱのコース・専攻・募集枠ごとの 出願資格及び選抜方法	P. 73
資料 34	取得可能な教員免許状・資格	P. 74
資料 35	実習施設一覧（臨床実習以外）	P. 75
資料 36	受入承諾書（臨床実習以外）	P. 92
資料 37	成績評価表	P. 102
資料 38	実習施設一覧（臨床実習）	P. 107
資料 39	受入承諾書（臨床実習）	P. 108
資料 40	熊本大学教授会規則	P. 110
資料 41	熊本大学教育学部教授会規則	P. 113
資料 42	教育学部教授会の下に設置する各種委員会	P. 114
資料 43	国立大学法人熊本大学自己点検・評価に関する規則	P. 115
資料 44	キャリア科目（令和2（2020）年度）	P. 118
資料 45	熊本市教育委員会との連携事業の実施状況 （令和2（2020）年度）	P. 119
資料 46	「ものづくりフェア」の例	P. 128
資料 47	教育学部ましきプロジェクト（『熊大通信』）	P. 129
資料 48	熊本県南部豪雨による被災地域における 学習支援プロジェクト（『熊大通信』）	P. 130
資料 49	教員採用試験対策講座等	P. 131
資料 50	学生支援相談室（ポスター）	P. 133
資料 51	就職サポートガイド（就職支援課作成、抜粋）	P. 134

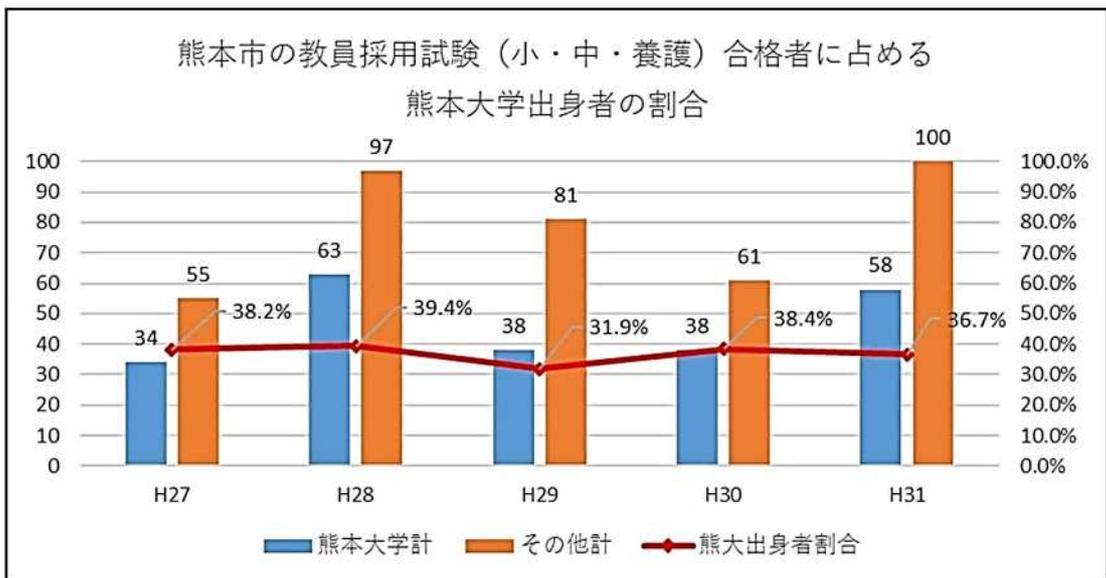
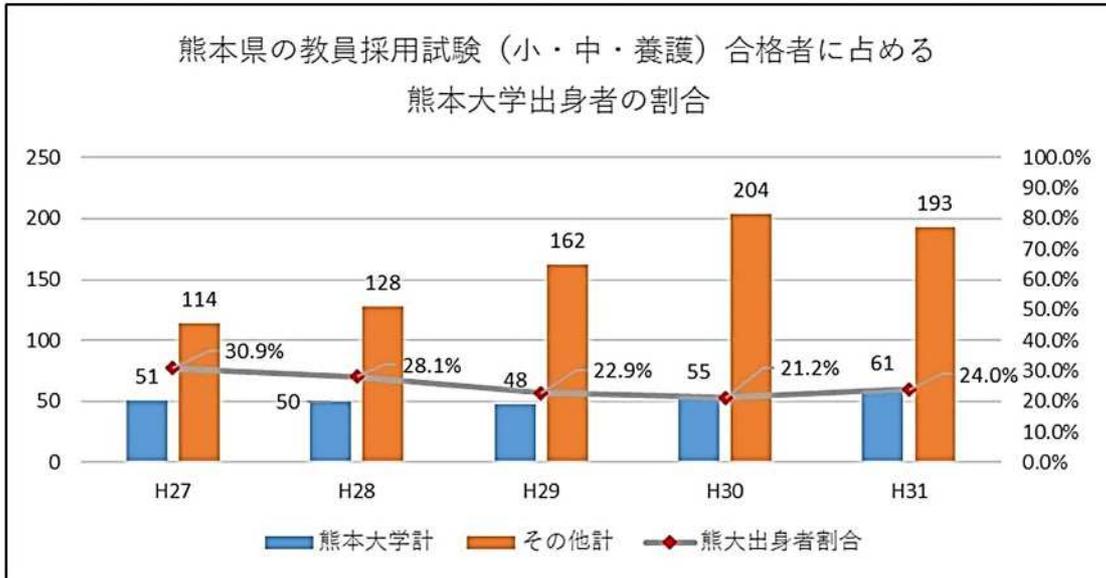
【資料1】 熊本県・市公立学校教員（小・中・特別支援・養護）採用数の推移（人）

学校種・教科・職種		採用数(令和3年度は採用予定)					
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
小学校教諭		222	211	223	260	267	303
小・中学校教諭(英語)		25	19	27	29	25	18
中学校教諭	国語	16	12	12	15	14	15
	社会	6	11	11	14	14	15
	数学	12	11	11	12	17	18
	理科	18	13	13	13	15	16
	音楽	4	7	7	6	9	9
	美術	4	4	4	2	3	3
	保健体育	8	7	7	14	15	18
	技術	3	2	2	2	2	3
	家庭	3	4	3	3	2	3
	特別支援	3	3	3	3	5	5
	計	77	74	73	84	96	105
特別支援学校教諭		39	24	38	35	38	74
養護教諭		20	22	30	29	32	25
総計		383	350	391	437	458	525

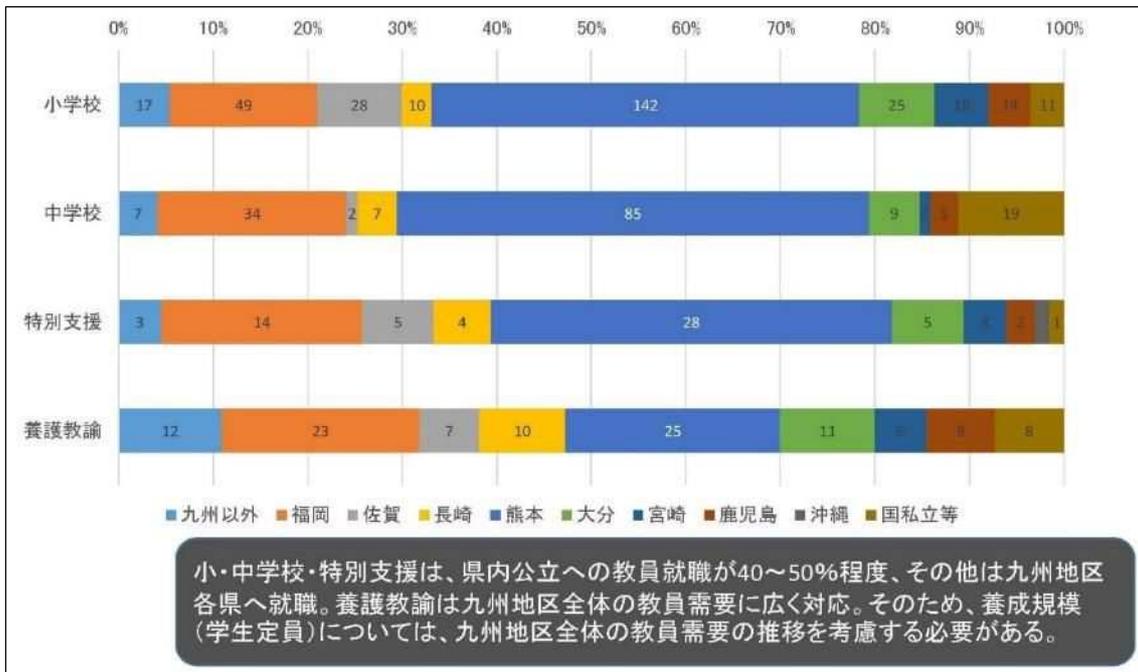
【資料2】 熊本県・市の公立小・中学校教員の定年退職予定者数から見た採用予測（人）



【資料3】 熊本県・市教員採用試験（小・中・養護）合格者に占める熊本大学出身者の割合



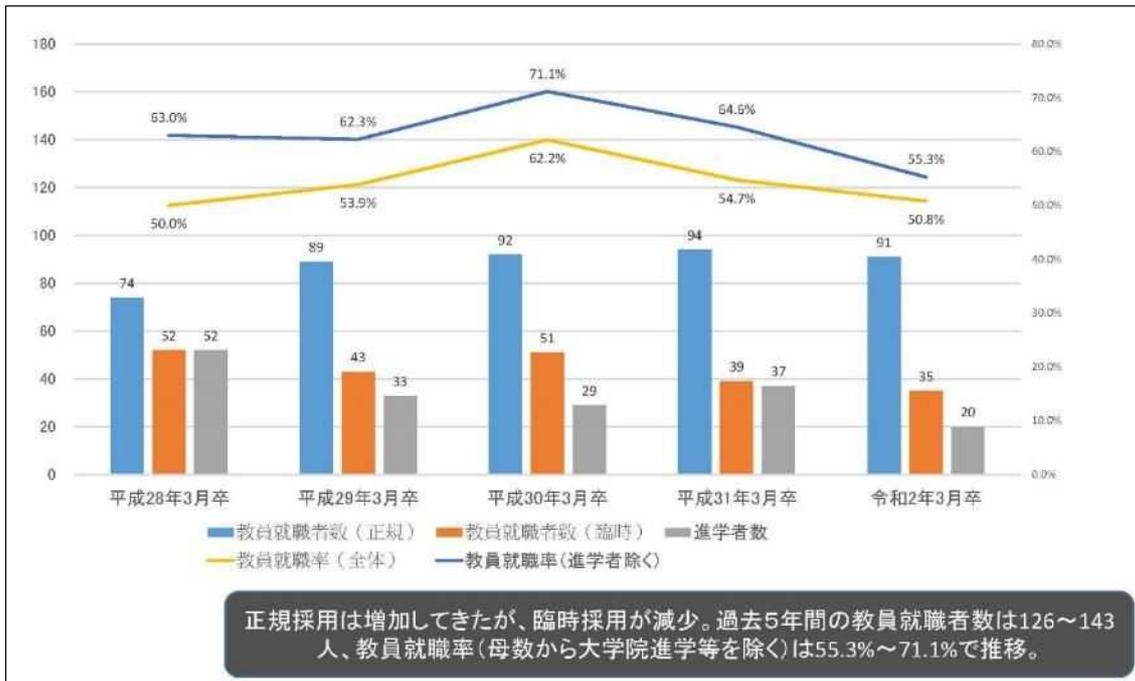
【資料4】 本学部卒業者の課程別教員就職先（H28.3～R2.3 卒平均）（人）



【資料5】 九州・沖縄地区の公立小・中学校教員需要推計



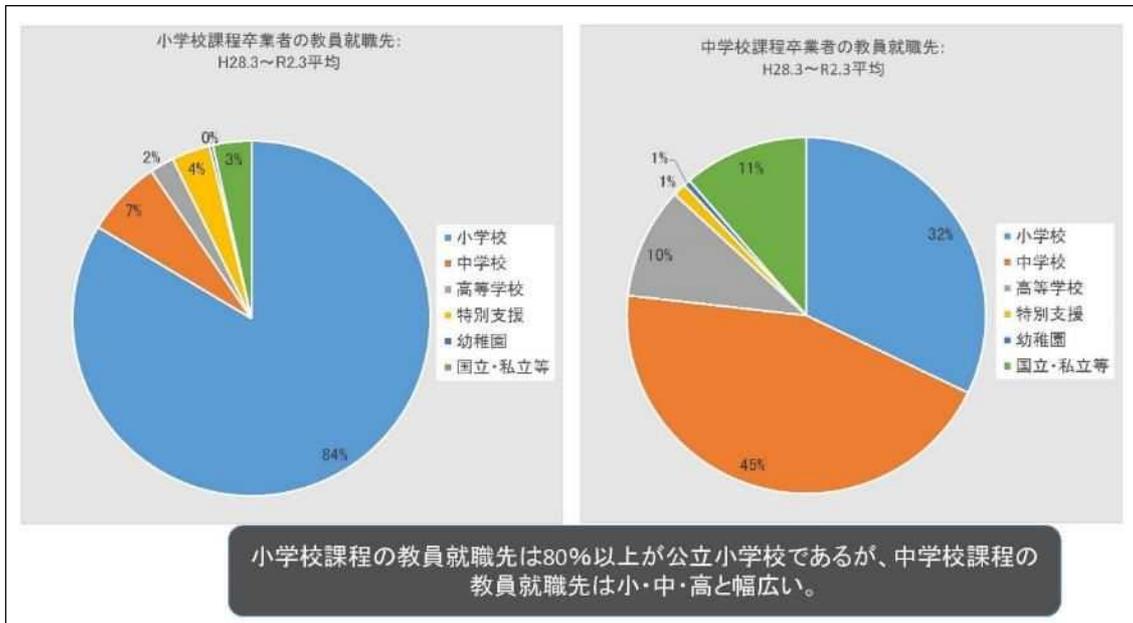
【資料6】 本学部卒業生（新卒）の教員就職状況（平成28年3月卒～令和2年3月卒）



【資料7】 本学部卒業生（新卒）の課程別教員就職率（平成28年3月卒～令和2年3月卒平均）



【資料 8】 本学部小・中学校課程卒業者の教員就職先（学校種）（平成 28 年 3 月卒～令和 2 年 3 月卒平均）



【資料 9】 課程編成の変更

現行			改組後			
課程	専攻	募集定員	課程	コース	専攻	募集定員
小学校教員養成		110	学校教育 教員養成 220	初等・ 中等教育 (170)	小学校	(110)
中学校 教員養成 70	国語	(7)			国語	(7)
	社会	(7)			社会	(7)
	数学	(10)			数学	(10)
	理科	(10)			理科	(10)
	英語	(6)			英語	(6)
	音楽	(6)			実技系	(20)
	美術	(6)		特別支援教育	(20)	
	保健体育	(6)		養護教育	(30)	
	技術	(6)		計	220	
家庭	(6)					
特別支援教育教員養成		20				
養護教諭養成		30				
計		230				

() 内の定員は学則上定めるものではない。

【資料 10】科目区分一覧

教養教育科目	基礎科目	外国語科目	
		情報科目	
		肥後熊本学	
		理系基礎科目	
		体育スポーツ科学科目	
リベラルアーツ科目、現代教育科目、Multidisciplinary Studies 等			
専門教育科目	専門科目	専門基礎科目	
		教育の基礎的理解に関する科目等	
		教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項
			教科の指導法
			関連科目
		教育学専修に関する科目	
		心理学専修に関する科目	
		特別支援教育に関する科目	
		養護に関する科目	
		大学が独自に設定する科目	
		卒業論文	
		幼稚園教諭免許状取得のための授業科目（卒業要件外）	
		公認心理師受験資格取得のための必須科目（卒業要件外）	
		学芸員科目（卒業要件外）	
社会教育士科目（卒業要件外）			

【資料 11-1-1】小学校専攻（共通）の科目構成、単位数、開講年次等（その 1）

教育の基礎的理解に関する科目等					
科目名	必修	選択	選択必修	開講年次	備考
教職入門	2			1	
教育学概論	2			1	
教育心理学	2			1	
教育思想		2	2	3	
教育史		2		3	
人権教育論		2		3	
教職保健		2		4	
教育社会学		2	2	3	
学校経営学		2		3	
学校教育と生涯学習		2		3	
特別支援教育原理	2			3	
教育課程基礎論（特別活動及び総合的な学習の時間の指導を含む）	2			2	
道德教育の理論と実践	2			3	
教育方法・技術	2			2	
教育評価		2		3	
生徒指導の理論と方法	2			3	
教育相談とキャリア教育	2			2	
事前・事後指導	1			3・4	
初等教育実習Ⅰ	2			3	
初等教育実習Ⅱ	2			3	
教職実践演習（幼・小）	2			4	
卒業に必要な単位	25	4			
	29				

【資料 11-1-2】 小学校専攻（共通）の科目構成、単位数、開講年次等（その2）

教科に関する専門的事項					
科目名	必修	選択	選択必修	開講年次	備考
初等国語	1			2	
初等社会	1			2	
算数	1			2	
初等理科	1			2	
初等英語	1			2	
初等音楽	1			1	
図画工作	1			1	
体育	1			1	
初等家庭	1			2	
生活	1			1	
教科の指導法					
初等国語科教育	2			3	
初等社会科教育	2			2・3	
算数科教育	2			3	
初等理科教育法	2			2・3	
初等英語科教育	2			3	
初等音楽科教育	2			2・3	
図画工作科教育	2			2・3	
体育科教育	2			2	
初等家庭科教育	2			2・3	
生活科教育	2			3	
卒業に必要な単位	30				

【資料 11-1-3】 小学校専攻（共通）の科目構成、単位数、開講年次等（その3）

大学が独自に設定する科目					
科目名	必修	選択	選択必修	開講年次	備考
教職実践基礎セミナー	2			1	
初等教育課題探究	1			3	
小学校教科指導探究	1			3	
熊本・学びの最前線Ⅰ		2*		1	*地域枠入学者は必修
熊本・学びの最前線Ⅱ		2*		2	
教育実践研究指導法演習		2		2-4	実践センター管轄
教育臨床体験演習		2		3	
卒業論文					
卒業論文	6				
幼稚園教諭免許状取得のための授業科目（卒業要件外）					
幼稚園教育課程論		2		2	
保育内容(概論)の理論と方法		2		3	
保育内容(人間関係)の理論と方法		2		3	
保育内容(健康)の理論と方法		2		3	
保育内容(環境)の理論と方法		2		3	
保育内容(言葉)の理論と方法		2		3	
保育内容(表現)の理論と方法		2		3	
幼児理解の理論と方法		2		2	
幼児教育指導法		2		2	
幼児と健康		2		2	
幼児と人間関係		2		2	
幼児と環境		2		2	
幼児と言葉		2		2	

幼児と表現		2		2	
卒業に必要な単位	10				
		10			

【資料 11-1-4】 小学校専攻（教育学専修）の科目構成、単位数、開講年次等

教育学専修に関する科目						
分野	科目名	必修	選択	選択必修	開講年次	備考
教育方法学	教育課程		2		2	
	教育方法学特殊講義		2		3	
	教育方法学演習		2		3	
教育史	教育史概説		2		2	
	教育史特殊講義		2		3	
	教育史演習		2		3	
教育制度	教育制度		2		2	
	教育制度特殊講義		2		3	
	教育制度演習		2		3	
教育社会学	学校社会学		2		2	
	教育社会学特殊講義		2		3	
	教育社会学演習		2		3	
社会教育	社会教育演習		2		3	
	生涯学習支援論Ⅰ		2		2	
	生涯学習支援論Ⅱ		2		3	
	社会教育経営論Ⅰ		2		3	
	社会教育経営論Ⅱ		2		4	
	社会教育実習		2		4	
教育哲学	教育哲学		2		3	
	教育哲学特殊講義		2		3	
	教育哲学演習		2		2	
道德教育	道德教育方法論		2		3	
	道德教育特殊講義		2		2	
	道德教育演習		2		4	
専修に必要な単位			28			
			28			

【資料 11-1-5】 小学校専攻（心理学専修）の科目構成、単位数、開講年次等

心理学専修に関する科目						
分野	科目名	必修	選択	選択必修	開講年次	備考
心理学基礎	心理学概論		2		1	
	心理学研究法		2		2・3	
	心理学統計法		2		2	
	調査統計法		2		3・4	
	心理学実験Ⅰ	1			2	
	心理学実験Ⅱ	1			3	
	心理的アセスメント	1			3	
教育・発達心理学	教育・学校心理学	2			2	
	教育・学校心理学演習		2*		3・4	
	発達心理学	2		*を付した科目から4単位以上	2	
	発達心理学演習		2*		3・4	
臨床心理学	臨床心理学概論	2			2	
	心理学的支援法		2		4	
	感情・人格心理学		2	3		
	臨床心理学演習		2*	3・4		

応用心理学	社会・集団・家族心理学		2		3
	産業・組織心理学		2		2・3
公認心理師受験資格取得のための授業科目（卒業要件外）					
演習・実習	心理演習		2		4
	心理実習		2		4
その他公認心理師 受験資格取得の ための必須科目	公認心理師の職責		2		1
	知覚・認知心理学		2		3
	学習・言語心理学		2		2
	神経・生理心理学		2		3
	障害者・障害児心理学		2		3
	健康・医療心理学		2		2・3
	福祉心理学		2		3
	司法・犯罪心理学		2		1
	人体の構造と機能及び疾病		2		2
精神疾患とその治療		2		3	
関係行政論		2		3	
専修に必要な単位		9	14		
		23			

【資料 11-2-1】教科に関する専攻（共通）の科目構成、単位数、開講年次等（その 1）

教育の基礎的理解に関する科目等					
科目名	必修	選択	選択必修	開講年次	備考
教職入門	2			1	
教育学概論	2			1	
教育心理学	2			1	
教育思想		2	2	3	
教育史		2		3	
人権教育論		2		3	
教職保健		2		4	
教育社会学		2	2	3	
学校経営学		2		3	
学校教育と生涯学習		2		3	
特別支援教育原理	2			3	
教育課程基礎論（特別活動及び総合的な学習の時間の指導を含む）	2			2	
道徳教育の理論と実践	2			3	
教育方法・技術	2			2	
教育評価		2		3	
生徒指導の理論と方法	2			3	
教育相談とキャリア教育	2			2	
事前・事後指導	1			3・4	
中等教育実習Ⅰ	2			3	
中等教育実習Ⅱ	2			3・4	
教職実践演習（中・高）	2			4	
卒業に必要な単位		25	4		
		29			

【資料 11-2-2】教科に関する専攻（共通）の科目構成、単位数、開講年次等（その 2）

大学が独自に設定する科目					
科目名	必修	選択	選択必修	開講年次	備考
教職実践基礎セミナー		2		1	
小学校教科指導探究		1		3	
熊本・学びの最前線Ⅰ		2		1	

熊本・学びの最前線Ⅱ		2		2	
教育実践研究指導法演習		2		2-4	実践センター 管轄
教育臨床体験演習		2		3	
卒業論文					
卒業論文		6			
卒業に必要な単位		6			
		6			

【資料 11-2-3】国語専攻の科目構成、単位数、開講年次等

教科に関する専門的事項						
分野	科目名	必修	選択	選択必修	開講年次	備考
国語学	国語学概説Ⅰ	1			2	
	国語学概説Ⅱ		1		2	
	国語学概説Ⅲ		1		3	
	国語学概説Ⅳ		1		3	
	国語学概説Ⅴ	1			3	
	国語学演習Ⅰ		1		2	
	国語学演習Ⅱ		1		2	
	国語学演習Ⅲ		1		3	
	国語学演習Ⅳ		1		3	
国文学	国文学概説Ⅰ	1			2	
	国文学概説Ⅱ	1			2	
	国文学概説Ⅲ		1		2	
	国文学講義Ⅰ		1		3	
	国文学講義Ⅱ		1		3	
	国文学講義Ⅲ		1		3	
	国文学講義Ⅳ		1		3	
	国文学演習Ⅰ		1		3	
	国文学演習Ⅱ		1		3	
	国文学演習Ⅲ		1		4	
	国文学演習Ⅳ		1		2	
	国文学演習Ⅴ		2		3	
国文学演習Ⅵ		2		4		
漢文学	漢文学概説Ⅰ	1			3	
	漢文学概説Ⅱ	1			3	
	漢文学講読Ⅰ		1		3	
	漢文学講読Ⅱ		1		3	
	漢文学演習Ⅰ		1		2	
	漢文学演習Ⅱ		1		2	
書道	書写	2			2	
教科の指導法						
	中等国語科教育Ⅰ	2			2	
	中等国語科教育Ⅱ	2			3	
	中等国語科教育Ⅲ	2			2	
	中等国語科教育Ⅳ	2			3	
	国語教育特殊講義Ⅰ		2		3	
	国語教育特殊講義Ⅱ		2		3	
	国語教育演習Ⅰ		1		3	
	国語教育演習Ⅱ		1		3	
	国語教育演習Ⅲ		1		3	
	国語教育演習Ⅳ		1		3	
卒業に必要な単位		16	12			

【資料 11-2-4】社会専攻の科目構成、単位数、開講年次等

教科に関する専門的事項						
分野	科目名	必修	選択	選択	開講年次	備考
歴史学	日本史概説Ⅰ	1			2	
	日本史概説Ⅱ	1			2	
	日本史特講Ⅰ		1		3	
	日本史特講Ⅱ		1		3	
	日本史演習Ⅰ		2		3・4	
	日本史演習Ⅱ		2		3・4	
	日本史演習Ⅲ		2		3・4	
	日本史演習Ⅳ		2		3・4	
	日本史調査実習		2		2・3	
	世界史概説Ⅰ	1			2	
	世界史概説Ⅱ	1			2	
	世界史特講Ⅰ		1		3	
	世界史特講Ⅱ		1		3	
	世界史演習Ⅰ		2		3・4	
	世界史演習Ⅱ		2		3・4	
	世界史演習Ⅲ		2		3・4	
	世界史演習Ⅳ		2		3・4	
	地理学	人文地理学概説Ⅰ	1			3
人文地理学概説Ⅱ		1			3	
自然地理学概説		2			2	
人文地理学特講Ⅰ			1		2	
人文地理学特講Ⅱ			1		2	
自然地理学特講			2		2	
人文地理学演習Ⅰ			2		3・4	
人文地理学演習Ⅱ			2		3・4	
人文地理学演習Ⅲ			2		3・4	
人文地理学演習Ⅳ			2		3・4	
地理学調査実習			2		3	
地誌Ⅰ		1			2	
地誌Ⅱ		1			2	
法律学・政治学	法律学概説Ⅰ		1	2	2	
	法律学概説Ⅱ		1		2	
	政治学概説		2		2	
	法律学特講Ⅰ		1		3	
	法律学特講Ⅱ		1		3	
	政治学特講		2		3	
	法律学演習Ⅰ		2		3	
	法律学演習Ⅱ		2		3	
	法律学演習Ⅲ		2		3	
	法律学演習Ⅳ		2		3	
	社会学・経済学	社会学概説		2	2	3
経済学概説Ⅰ			1	2		
経済学概説Ⅱ			1		2	
社会学特講			2		3	
経済学特講Ⅰ			1		3	
経済学特講Ⅱ			1		3	
経済学演習Ⅰ			2		3・4	
経済学演習Ⅱ			2		3・4	

	経済学演習Ⅲ		2		3	
	経済学演習Ⅳ		2		3・4	
	地域調査実習		2		3	
哲学・倫理学・宗教学	哲学概説Ⅰ		1	2	2・3	
	哲学概説Ⅱ		1		2・3	
	倫理学概説Ⅰ		1		2	
	倫理学概説Ⅱ		1		2	
	哲学特講Ⅰ		1		2・3	
	哲学特講Ⅱ		1		2・3	
	倫理学特講Ⅰ		1		3	
	倫理学特講Ⅱ		1		3	
	倫理学演習Ⅰ		2		3・4	
	倫理学演習Ⅱ		2		3・4	
	倫理学演習Ⅲ		2		3・4	
	倫理学演習Ⅳ		2		3・4	
教科の指導法						
	中等社会科教育（社会・公民）Ⅰ	2			2	
	中等社会科教育（社会・地理歴史）Ⅰ	2			2	
	中等社会科教育（社会・公民）Ⅱ	2			3	
	中等社会科教育（社会・地理歴史）Ⅱ	2			3	
関連科目						
	社会科教育演習Ⅰ		2		3・4	
	社会科教育演習Ⅱ		2		3・4	
	社会科教育演習Ⅲ		2		3・4	
	社会科教育演習Ⅳ		2		3・4	
	社会科教育演習Ⅴ		2		3・4	
	社会科教育演習Ⅵ		2		3・4	
	社会科教育演習Ⅶ		2		3・4	
	社会科教育演習Ⅷ		2		3・4	
卒業に必要な単位		18	10			
		28				

【資料 11-2-5】 数学専攻の科目構成、単位数、開講年次等

教科に関する専門的事項						
分野	科目名	必修	選択	選択必修	開講年次	備考
代数学	代数学序論 A		1	4	2	
	代数学序論 B		1		2	
	代数学概論 A		1		2	
	代数学概論 B		1		2	
	代数学講義 A		1		3	
	代数学講義 B		1		3	
	代数学特論		2		3	
	代数学演習		2		3	
幾何学	幾何学序論 A		1	4	2	
	幾何学序論 B		1		2	
	幾何学概論 A		1		2	
	幾何学概論 B		1		2	
	幾何学講義 A		1		3	
	幾何学講義 B		1		3	
	幾何学特論		2		3	
	幾何学演習		2		3	
解析学	解析学序論 A		1	4	2	
	解析学序論 B		1		2	

	解析学概論 A		1		2
	解析学概論 B		1		2
	解析学講義 A		1		3
	解析学講義 B		1		3
	解析学特論		2		3
	解析学演習		2		3
確率論・統計学	確率統計学 A		1	1	2
	確率統計学 B		1		2
コンピューター	計算機概論 A		1	1	3
	計算機概論 B		1		3
	情報数学 A		1		3
	情報数学 B		1		3
	応用数学特論		2		3
	応用数学演習		2		3
教科の指導法					
数学科教育 I		2			2
数学科教育 II		2			2
数学科教育 III		2			3
数学科教育 IV		2			3
数学科教育特論 A			2		3
数学科教育特論 B			2		3
卒業に必要な単位			8	20	
			28		

【資料 11-2-6】理科専攻の科目構成、単位数、開講年次等

教科に関する専門的事項						
分野	科目名	必修	選択	選択必修	開講年次	備考
物理学	基礎物理学 A	1			2	
	基礎物理学 B		1		2	
	基礎物理学演習		1		2	
	物理学 I		2		2	
	物理学 II		2		2	
	物理学基礎研究			2		3
	物理学実験 A	1				3
	物理学実験 B		1			3
化学	基礎化学 A	1			2	
	基礎化学 B		1		2	
	基礎化学演習		1		2	
	化学 I		2		2	
	化学 II		2		2	
	化学基礎研究			2		3
	化学実験 A	1				3
	化学実験 B		1			3
生物学	基礎生物学 A	1			2	
	基礎生物学 B		1		2	
	基礎生物学演習		1		2	
	生物学 I		2		2	
	生物学 II		2		3	
	生物学基礎研究			2		3
	生物学実験 A	1				3
	生物学実験 B		1			3
地学	基礎地学 A	1			2	
	基礎地学 B		1		2	

	基礎地学演習		1		4	
	地学Ⅰ		2		4	
	地学Ⅱ		2		4	
	地学基礎研究		2		3	
	地学実験A	1			3	
	地学実験B		1		3	
教科の指導法						
	中等理科教育法Ⅰ	2			2	
	中等理科教育法Ⅱ	2			2	
	中等理科教育法Ⅲ	2			3	
	中等理科教育法Ⅳ	2			3	
	理科教育基礎研究		2		3	
	理科教育実践入門		2		1	
卒業に必要な単位		16	12			
		28				

【資料 11-2-7】英語専攻の科目構成、単位数、開講年次等

専門基礎科目						
分野	科目名	必修	選択	選択必修	開講年次	備考
	英語コミュニケーションⅠ	2			1	
	英語コミュニケーションⅡ	2			1	
教科に関する専門的事項						
英語学	英語学Ⅰ	2			2	
	英語学Ⅱ	2			2	
	英語音声学	2			2	
	英語学講読		2		3	
	英語学演習		2		2	
	英語学課題研究		2		3	
英語文学	英語文学	2			3	
	英語文学演習Ⅰ	2			3	
	英語文学演習Ⅱ	2			3	
	英語文学課題研究		2		3	
英語コミュニケーション	英会話	2			2	
	英作文Ⅰ	2			2	
	英作文Ⅱ	2			2	
異文化理解	異文化理解	2			3	
教科の指導法						
	英語科教育Ⅰ	2			2	
	英語科教育Ⅱ	2			2	
	英語科教育Ⅲ	2			3	
	英語科教育Ⅳ	2			3	
	英語科教育課題研究		2		3	
卒業に必要な単位		30	30		専門基礎を含む	

【資料 11-2-8-1】実技系専攻（共通）の科目構成、単位数、開講年次等

大学が独自に設定する科目						
科目名	必修	選択	選択必修	開講年次	備考	
実技系教科指導探究Ⅰ	1			3		
実技系教科指導探究Ⅱ	1			3		
卒業に必要な単位		2	1			
		2				

【資料 11-2-8-2】実技系専攻（音楽）の科目構成、単位数、開講年次等

教科に関する専門的事項						
分野	科目名	必修	選択	選択必修	開講年次	備考
ソルフェージュ	ソルフェージュⅠ	1			2	
	ソルフェージュⅡ		1		2	
声乐	声乐演習Ⅰ	2			1・2	
	声乐演習Ⅱ	2			1・2	
	声乐演習Ⅲ		2		2	
	声乐演習Ⅳ		2		2	
	声乐実技Ⅰ		1		3	
	声乐実技Ⅱ		1		3	
	合唱Ⅰ	1			2	
	合唱Ⅱ		1		2	
	合唱Ⅲ	1			3	
	合唱Ⅳ		1		3	
器楽	器楽演習AⅠ	2			1・2	
	器楽演習AⅡ	2			1・2	
	器楽演習AⅢ		2		2	
	器楽演習AⅣ		2		2	
	器楽実技AⅠ		1		3	
	器楽実技AⅡ		1		3	
	器楽演習BⅠ	2			1・2	
	器楽演習BⅡ		2		1・2	
	器楽演習BⅢ		2		2	
	器楽演習BⅣ		2		2	
	器楽実技BⅠ		1		3	
	器楽実技BⅡ		1		3	
	合奏Ⅰ	1			2	
	合奏Ⅱ		1		2	
	合奏Ⅲ		1		3	
伴奏法演習		2		3		
指揮法	指揮法	2			3	
音楽理論・作曲法・ 音楽史	音楽理論A	2			2	
	音楽理論BⅠ	2			1	
	音楽理論BⅡ		2		2	
	音楽史Ⅰ	2			1	
	音楽史Ⅱ		2		2	
	作曲法	2			2	
	音楽学演習Ⅰ		2		3	
	音楽学演習Ⅱ		2		3	
	作曲演習Ⅰ		2		3	
	作曲演習Ⅱ		2		3	
教科の指導法						
	音楽科教育法Ⅰ	2			1	
	音楽科教育法Ⅱ	2			2	
	音楽科教育法Ⅲ	2			3	
	音楽科教育法Ⅳ	2			3	
卒業に必要な単位		32	32			

【資料 11-2-8-3】実技系専攻（美術）の科目構成、単位数、開講年次等

教科に関する専門的事項						
分野	科目名	必修	選択	選択必修	開講年次	備考
絵画	絵画基礎Ⅰ	2			1	
	絵画基礎Ⅱ	2			2	
	絵画演習Ⅰ		2		2	
	絵画演習Ⅱ		2		2・3	
	絵画演習Ⅲ		2		3	
彫刻	彫刻基礎Ⅰ	2			1・2	
	彫刻基礎Ⅱ		2		2・3	
	彫刻演習Ⅰ		2		3・4	
	彫刻演習Ⅱ		2		3・4	
	彫刻演習Ⅲ		2		3・4	
デザイン	デザイン基礎Ⅰ	2			1・2	
	デザイン基礎Ⅱ		2		2・3	
	デザイン演習Ⅰ		2		3・4	
	デザイン演習Ⅱ		2		3・4	
	デザイン演習Ⅲ		2		3・4	
工芸	工芸基礎	2			1	
	工芸演習Ⅰ		2		2	
	工芸演習Ⅱ		2		2・3	
美術理論・美術史	美術概論	1			2	
	美術史	1			2	
教科の指導法						
	美術科教育法Ⅰ	2			2	
	美術科教育法Ⅱ	2			3	
	美術科教育演習Ⅰ	2			2	
	美術科教育演習Ⅱ	2			3	
卒業に必要な単位		20	8			
		28				

【資料 11-2-8-4】実技系専攻（保健体育）の科目構成、単位数、開講年次等

教科に関する専門的事項						
分野	科目名	必修	選択	選択必修	開講年次	備考
体育実技	体育実技Ⅰ	1			2	
	体育実技Ⅱ	1			3	
	体育実技Ⅲ	1			2・3	
	体育実技Ⅳ	1			3	
	体育実技Ⅴ		1	1	2・3	
	体育実技Ⅵ		1		2・3	
	体育実技Ⅶ	1			2・3	
	体育実技Ⅷ	1			3	
	体育実技Ⅸ	1			4	
	野外活動		1		1・2・3	
体育理論・運動学	体育原理		2	4	3	
	体育心理学		2		2	
	体育経営管理学		2		2	
	体育社会学		2		3	
	運動学	2			3	
	保健体育科課題研究Ⅰ		2*	*付 た科目 から2単	3	
	保健体育科課題研究Ⅱ		2*		3	
生理学及び衛生学	生理学(運動生理学を含む。)	2			2	

	生理学実験・演習		2	以	2	
	衛生学(公衆衛生学を含む。)	1			2	
	保健体育科課題研究Ⅲ		2*		3	
	保健体育科課題研究Ⅳ		2*		3	
学校保健	学校保健Ⅰ	2			2	
	学校保健Ⅱ		2		3	
	保健体育科課題研究Ⅴ		2*		3	
	保健体育科課題研究Ⅵ		2*		3	
教科の指導法						
保健体育科教育Ⅰ		2			2	
保健体育科教育Ⅱ		2			2	
保健体育科教育Ⅲ		2			3	
保健体育科教育Ⅳ		2			3	
卒業に必要な単位		22	7			
		29				

【資料 11-2-8-5】実技系専攻（技術）の科目構成、単位数、開講年次等

教科に関する専門的事項						
分野	科目名	必修	選択	選択必修	開講年次	備考
木材加工	木材加工Ⅰ	1			3	
	木材加工Ⅱ	1			3	
	木材加工Ⅲ		1		2	
	木材加工Ⅳ		1		2	
	木材加工実習Ⅰ	1			3	
	木材加工実習Ⅱ	1			3	
	製図Ⅰ		1		3	
	製図Ⅱ		1		3	
金属加工	金属加工Ⅰ	1			2	
	金属加工Ⅱ	1			2	
機械	機械Ⅰ	1			2	
	機械Ⅱ	1			2	
	機械実験実習Ⅰ	1			3	
	機械実験実習Ⅱ	1			3	
電気	電気Ⅰ	1			2・3	
	電気Ⅱ	1			2・3	
	電気実習Ⅰ		1		3	
	電気実習Ⅱ		1		3	
栽培	栽培Ⅰ	1			2	
	栽培Ⅱ	1			2	
	栽培実習Ⅰ	1			2	
	栽培実習Ⅱ	1			2	
情報とコンピュータ	情報とコンピュータⅠ	1			2	
	情報とコンピュータⅡ	1			2	
	情報とコンピュータ実習Ⅰ	1			2	
	情報とコンピュータ実習Ⅱ	1			2	
職業指導	職業指導		2		3	
教科の指導法						
技術科教育Ⅰ		2			2	
技術科教育Ⅱ		2			3	
技術科教育Ⅲ		2			3	
技術科教育Ⅳ		2			3	
工業科教育法Ⅰ			2		3	
工業科教育法Ⅱ			2		4	

関連科目					
技術基礎実習		1		1	
卒業に必要な単位	28				
		28			

【資料 11-2-8-6】実技系専攻（家庭）の科目構成、単位数、開講年次等

教科に関する専門的事項						
分野	科目名	必修	選択	選択必修	開講年次	備考
家庭経営学	家庭経営学Ⅰ	1			3	
	家庭経営学Ⅱ	1			3	
	家庭経営学演習		1		4	
	家政学原論Ⅰ	1			2	
	家政学原論Ⅱ		1		2	
	家庭経済学		1		3	
	家庭経済学演習		1		3	
	家族関係学	2			2	
被服学	被服科学実験		1		3	
	被服学概論Ⅰ	1			2	
	被服学概論Ⅱ	1			2	
	被服構成実習	1			2	
食物学	食物学概論Ⅰ	1			2	
	食物学概論Ⅱ	1			2	
	食品学・栄養学		2		3	
	食物学実験	1			3	
	調理学Ⅰ		1		3	
	調理学Ⅱ		1		3	
	調理実習Ⅰ	1			2	
	調理実習Ⅱ		1		3	
住居学	住居学Ⅰa	1			2	
	住居学Ⅰb	1			2	
	住居学Ⅱa		1		1	
	住居学Ⅱb		1		1	
	住居学Ⅲa		1		3	
	住居学Ⅲb		1		3	
	住居計画学	2			3	
保育学	保育学Ⅰ	2			3	
	保育学Ⅱa		1		2・3	
	保育学Ⅱb		1		2・3	
	保育学演習Ⅰ	1			3	
	保育学演習Ⅱ	1			3	
家庭電気・機械	家庭電気・機械及び情報処理		2		2・3	
教科の指導法						
家庭科教育概論		2			2	
中等家庭科教育Ⅰ		2			2	
中等家庭科教育Ⅱ		2			2	
中等家庭科教育Ⅲ		2			3	
卒業に必要な単位	28					
		28				

【資料 12-1】 特別支援教育コースの科目構成、単位数、開講年次等（その1）

教育の基礎的理解に関する科目等						
科目名	必修	選択	選択必修	開講年次	備考	
教職入門	2			1		
教育学概論	2			1		
教育心理学	2			1		
教育思想		2	2	3		
教育史		2		3		
人権教育論		2		3		
教職保健		2		4		
教育社会学		2	2	3		
学校経営学		2		3		
学校教育と生涯学習		2		3		
特別支援教育原理	2			3		
教育課程基礎論（特別活動及び総合的な学習の時間の指導を含む）	2			2		
道徳教育の理論と実践	2			3		
教育方法・技術	2			2		
教育評価		2		3		
生徒指導の理論と方法	2			3		
教育相談とキャリア教育	2			2		
事前・事後指導	1			3		
初等教育実習Ⅰ	2	小学校を基礎免許とする場合				
初等教育実習Ⅱ	2					
中等教育実習Ⅰ	2	中学校を基礎免許とする場合				
中等教育実習Ⅱ	2					
障害児教育実習	3			3		
教職実践演習（幼・小）	2	小学校を基礎免許とする場合				
教職実践演習（中・高）	2	中学校を基礎免許とする場合				
卒業に必要な単位	28	4				
	32					

【資料 12-2】 特別支援教育コースの科目構成、単位数、開講年次等（その2）

特別支援教育に関する科目						
分野	科目名	必修	選択	選択必修	開講年次	備考
特別支援教育の基礎理論に関する科目	特別支援教育概論	2			1	
	特別支援教育史		2		1	
	特別支援教育研究法		2		3	
特別支援教育領域に関する科目	知的障害児教育総論	2			1	
	知的障害児心理学	2			1	
	知的障害児教育課程論	2			3	
	知的障害児指導法Ⅰ		2	2	1	
	知的障害児指導法Ⅱ		2		2	
	知的障害児指導法Ⅲ		2		3	
	肢体不自由児教育総論	1			1	
	肢体不自由児指導法	2			2	
	肢体不自由児心理学	1			1	
	病弱児教育総論	1			2	
	病弱児指導法	2			3	
	病弱児の心理・生理・病理	1			2	
	知的障害児発達評価法		2		3	
	免許状に定められることとなる特別	聴覚障害児教育総論		2		
重複障害児教育総論		2			2	

支援教育領域以外の領域に関する科目	学習障害児支援論		2	2	2	
	発達障害児支援論		2		2	
	特別支援教育教材開発論		2		3	
	障害児臨床応用演習Ⅰ		2	2	3	
	障害児臨床応用演習Ⅱ		2		3	
	障害児臨床応用演習Ⅲ		2		3	
	障害児臨床応用演習Ⅳ		2		3	
	障害児臨床応用演習Ⅴ		2		3	
卒業に必要な単位		18	6			
		24				

【資料 12-3】特別支援教育コースの科目構成、単位数、開講年次等（その3）

大学が独自に設定する科目					
科目名	必修	選択	選択必修	開講年次	備考
教職実践基礎セミナー		2		1	実践センター 管轄
小学校教科指導探究		1		3	
熊本・学びの最前線Ⅰ		2		1	
熊本・学びの最前線Ⅱ		2		2	
教育実践研究指導法演習		2		2・3・4	
教育臨床体験演習		2		3	
卒業論文					
卒業論文	6			6	
卒業に必要な単位		6			
		6			

【資料 13-1】養護教育コースの科目構成、単位数、開講年次等（その1）

教育の基礎的理解に関する科目等						
科目名	必修	選択	選択必修	開講年次	備考	
教職入門	2			1		
教育学概論	2			1		
教育心理学	2			1		
教育思想		2	2	3		
教育史		2		3		
人権教育論		2		3		
教職保健		2		4		
教育社会学		2	2	3		
学校経営学		2		3		
学校教育と生涯学習		2		3		
特別支援教育原理	2			3		
教育課程基礎論（特別活動及び総合的な学習の時間の指導を含む）	2			2		
道徳教育の理論と実践	2			3		
教育方法・技術	2			2		
教育評価		2		3		
生徒指導の理論と方法	2			3		
教育相談とキャリア教育	2			2		
事前・事後指導		1		3・4		
中等教育実習Ⅰ		2		3		
中等教育実習Ⅱ		2		3・4		
養護実習	5			3・4		
教職実践演習（中・高）	2			4		
教職実践演習（養護教諭）	2			4		
卒業に必要な単位		27	4			

【資料 13-2】 養護教育コースの科目構成、単位数、開講年次等（その2）

専門基礎科目						
分野	科目名	必修	選択	選択必修	開講年次	備考
化学		1			1	
養護に関する科目						
基礎医科学	解剖学	2			1	
	生理学	2			1	
	生理学実習		2		2	
	微生物学・免疫学	2			2	
	薬理学	2			2	
	病理学		2		2	
	生化学		2		1	
	栄養学(食品学を含む。)	2			2	
臨床医科学・ 看護学	看護学概説Ⅰ	2			2	
	看護学概説Ⅱ	1			3	
	看護学概説Ⅲ		1		3	
	看護学実習Ⅰ	1			3	
	看護学実習Ⅱ	1			3	
	内科学		2		2	
	皮膚科学		1		2	
	小児科学		2		3	
	外科学	1			2	
	整形外科学		1		2	
	眼科学		1		2	
	歯科学		1		2	
	耳鼻咽喉科学		1		2	
	産婦人科学		1		2	
	精神保健学	2			3	
	臨床実習Ⅰ	3			3	
	臨床実習Ⅱ		1		3	
教育保健	学校保健Ⅰ(小児保健を含む。)	2			2	
	学校保健Ⅱ(小児保健を含む。)		1		2	
	学校保健Ⅲ		1		4	
	養護概論Ⅰ	2			1	
	養護概論Ⅱ	2			2	
	養護概論Ⅲ		1		3	
	衛生学	2			1	
	公衆衛生学Ⅰ	2			1	
	公衆衛生学Ⅱ		1		2	
	公衆衛生学実習		2		3	
	予防医学	1			3	
	学校救急処置Ⅰ	1			3	
	学校救急処置Ⅱ	1			3	
	学校安全	1			3	
	健康相談	2			3	
	健康相談活動演習		2		3	
教科の指導法						
保健科教育法Ⅰ		2			2	
保健科教育法Ⅱ		2			3	
保健科教育法Ⅲ			2		3	
保健科教育法Ⅳ			2		3	

性に関する指導		1		4	
卒業に必要な単位	41				
	41				

【資料 13-3】 養護教育コースの科目構成、単位数、開講年次等（その3）

大学が独自に設定する科目					
科目名	必修	選択	選択必修	開講年次	備考
熊本・学びの最前線Ⅰ		2		1	
熊本・学びの最前線Ⅱ		2		2	
教育実践研究指導法演習		2		2・3・4	実践センター 管轄
教育臨床体験演習		2		3	
卒業論文					
卒業論文	6				
卒業に必要な単位	6				
	6				

【資料 14】 各コース・専攻における「大学が独自に設定する科目」の位置づけ

◎必修 ○選択又は選択必修

		新設科目			熊本県・市教育委員会との連携に基づく科目				
		初等教育 課題探究	小学校教科 指導探究	実技系教科 指導探究	教職実践 基礎セミナー	熊本・学びの 最前線	教育実践研究 指導法演習	教育臨床 体験演習	
初等・ 中等 教育 コース	小学校専攻	◎	◎		◎	○	○	○	
	(地域枠)	◎	◎		◎	◎	○	○	
	教科に 関する 専攻	実技系 以外		○		○	○	○	○
		実技系		○	◎	○	○	○	○
特別支援教育コース			○		○	○	○	○	
養護教育コース						○	○	○	

【資料 15】 各コース・専攻における授業内容等の工夫

初等・中等教育コース：小学校専攻
<p>1. 理論と実践の往還及び習得・活用・探究のサイクルに関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「教育哲学演習」では、「学びの個別化・協同化・プロジェクト化の融合」の理論を学ぶとともに、この理論を実践している学校等への視察やインタビューを行い、その成果をさらに理論的に検討している。 ・「教育方法学特殊講義」及び「教育方法学演習」では、附属学校の教育実習で学生が作成した学習指導案やその改善案について、アクティブラーニング等の視点から検討・協議を重ねている。 ・「道徳教育の理論と実践」では、附属特別支援学校と道徳科の共同研究の成果を授業に取り入れている。

<ul style="list-style-type: none"> ・公認心理師受験資格に関する科目については、理論的・技術的側面からの学修内容を心理演習の学修内容と往還させることにより、心理職に求められる専門的知識や技能の修得・活用・探究を促すカリキュラムが構築されている。 2. 教科・領域横断的な視点から新たな価値を創出する教育プロジェクトに関する事項 <ul style="list-style-type: none"> ・公認心理師受験資格に関する科目については、教育に係る分野の心理学のみならず、保健医療、福祉、司法・犯罪、産業・労働に係る分野を含め、多様な分野・領域にわたって心理学を学修することの意味や意義を理解し、より深く学修できるようカリキュラムが構築されている。 3. チームとしての学校を実現するために必要なコーディネート力、コミュニケーション力の養成に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> ・「地域社会教育」や「社会教育演習」においては、社会教育士に必要なコーディネート力、プレゼンテーション力、ファシリテーション力を養うため、学外の社会教育施設等と連携した学外学修を実施している。 ・公認心理師受験資格に関する科目については、子どもや教員が抱える課題を包括的に捉え直し、関係諸機関と連携しながら解決に向けた支援ができるようなコミュニケーション力やコーディネート力を修得するためのカリキュラムが構築されている。
<p>初等・中等教育コース：国語専攻</p>
<ul style="list-style-type: none"> 1. 理論と実践の往還及び習得・活用・探究のサイクルに関する事項 <ul style="list-style-type: none"> ・「国語教育演習Ⅰ・Ⅱ」及び「中等国語科教育Ⅰ・Ⅲ」では、授業作りや模擬授業を行っている。 ・「国語教育演習Ⅱ」では、教育実習で扱った教材をもとに、学部でもさらに教材研究を行っている。 ・「中等国語科教育Ⅱ・Ⅳ」では、教育実践に関する論文に関する考察を行っている。 2. 教科・領域横断的な視点から新たな価値を創出する教育プロジェクトに関する事項 <ul style="list-style-type: none"> ・「漢文学概説Ⅱ」（今後は「漢文学講読Ⅰ・Ⅱ」）では、日本史と漢文を組み合わせた講義を行っている。 3. チームとしての学校を実現するために必要なコーディネート力、コミュニケーション力の養成に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> ・「国語教育特殊講義Ⅱ」では、協働して学習指導案を作ったり、学生に授業検討会をマネジメントさせたりしている。 ・「中等国語科教育Ⅲ」では、「音声・議論」の演習を行い、コミュニケーション力の向上を図っている。
<p>初等・中等教育コース：社会専攻</p>
<ul style="list-style-type: none"> 1. 理論と実践の往還及び習得・活用・探究のサイクルに関する事項 <ul style="list-style-type: none"> ・「地理歴史科教育Ⅰ・Ⅱ」では、講義や演習で習得した内容を活用・探究し、学習指導案を作るとともに、それに対するコメントや相互評価を行い、繰り返し改善・修正を行うことにより、理論と実践の往還の過程を経験させている。

<p>2. 教科・領域横断的な視点から新たな価値を創出する教育プロジェクトに関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生活」では、心理学、歴史学、理科教育、技術科教育、家庭経営学の教員が領域横断的に協力し、学生が自らの「体験と気づき」を通して生活科の本質が理解できる授業を開発し、実施している。 <p>3. チームとしての学校を実現するために必要なコーディネート力、コミュニケーション力の養成に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「社会科教育演習V」では、地域課題の企画・調査・授業化を行っており、その際、必ず学生本人に取材交渉を行わせており、こうした学外との交渉は、コーディネート力、コミュニケーション力の育成に資すると考えている。
<p>初等・中等教育コース：数学専攻</p>
<p>1. 理論と実践の往還及び習得・活用・探究のサイクルに関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「教科の指導法」の授業内容を「専門的事項」の授業内容と関係づけるような工夫を行っている。例えば、「数学科教育」では、「線形代数」「代数」に関する知識を活かすことで理解が深まるような課題を扱い、専門的知識が教科内容の深い理解に必要なことを伝えている。 ・「算数科教育」および「数学科教育」の授業内容を「習得・活用・探究」という一連の学習プロセスを意識したものに改め、その枠組みを学習者と共有した上で指導を行うことを考えている。具体的には、授業内容を次の3部構成で再整理する。 <ul style="list-style-type: none"> 1 部（習得）：基礎理論に関する知識の習得を目指した学びの段階 2 部（活用）：具体的な指導場面への知識の活用を意識した学び段階 3 部（探究）：実践的な演習やその改善を考える探究的な学びの段階 ・また、単一の授業内での学習プロセスを工夫するだけでなく、「数学科教育I～IV」の4つの授業を通じて、「習得・活用・探究のサイクル」で学びが深まっていくように指導内容を整理・調整する。
<p>初等・中等教育コース：理科専攻</p>
<p>1. 理論と実践の往還及び習得・活用・探究のサイクルに関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次に「理科教育実践入門」を選択科目として導入し、授業実践の視点から教員養成の学びを始められるようにしている。本授業を1年次に行うことで、2年次以降の理論や技能を扱う教育法や教科専門の講義・演習・実験に向かう意識を高め、課題をもって授業に臨み、3年次以降の教育実習にスムーズにつながるようにしている。
<p>初等・中等教育コース：英語専攻</p>
<p>1. 理論と実践の往還及び習得・活用・探究のサイクルに関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用に詳しい教員の支援や教室・施設の共同利用等が可能であれば、「英語科教育I～IV」などの講義で、ICTを活用した授業実践能力を高めるための模擬授業等を実施したい。 <p>2. 教科・領域横断的な視点から新たな価値を創出する教育プロジェクトに関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の教員の支援があれば、「英語科教育I～IV」などの講義の一部で、ユニ

<p>バーサルデザインに対応した英語授業の実践能力を高めるための指導を行いたい。</p> <p>3. チームとしての学校を実現するために必要なコーディネート力、コミュニケーション力の養成に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語専攻や社会専攻と連携し、「教職実践基礎セミナー」において、国際理解や異文化コミュニケーション能力を高めるプログラムを実施したい。
<p>初等・中等教育コース：実技系専攻</p>
<p>1. 理論と実践の往還及び習得・活用・探究のサイクルに関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「音楽科教育法Ⅳ」では、近隣の公立小学校で行われる校内音楽会の実技指導を授業の中に取り入れ、実技指導における一斉指導と個別指導の役割と方法、個別指導における個別課題への対応の方法について実践を通して学ばせている。 ・「体育科教育」及び「保健体育科教育」の一部において、附属小・中学校教員に実地指導講師をお願いし、授業観察や実践紹介等を通じ、理論と実践の往還に努めている。 <p>2. 教科・領域横断的な視点から新たな価値を創出する教育プロジェクトに関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科・領域横断的な視点からの取組は、実技系専攻全体が協力し、新設する「大学が独自に設定する科目」において実施する。具体的には、「実技系教科指導探究Ⅰ・Ⅱ」において、SDGs（持続可能な開発目標）や Society5.0 の理念等に含まれる新たな諸価値を創出していく力を育成するための教材開発等を行う。また、「不登校支援」や「ものづくり」などを各教科に共通する授業課題とすることが想定される。 <p>3. チームとしての学校を実現するために必要なコーディネート力、コミュニケーション力の養成に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームとしての学校に関する取組は、主として、実技系専攻全体が協力し、新設する「大学が独自に設定する科目」において実施する。 ・「絵画演習」などで制作した絵画作品を、ホスピタスアートとして展示することなど、。美術表現の能力を教室内にとどめるだけではなく、社会貢献へも積極的に結び付け、展開する授業を行う。
<p>特別支援教育コース</p>
<p>1. 理論と実践の往還及び習得・活用・探究のサイクルに関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「知的障害児指導法Ⅰ～Ⅲ」では、様々な障害種の子どもたちの支援活動に参加し、他の科目で学んだ教育方法の知識や技能を活用するとともに、活動後には、子どもへの理解や指導・支援方法についての考察を行っている。 <p>2. 教科・領域横断的な視点から新たな価値を創出する教育プロジェクトに関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「特別支援教育教材開発論」では、障害特性に配慮した学習教材や支援機器に関する講義・演習を行っており、学生自身が新たなテクノロジーやサービスを活用し、教材や支援機器と指導法を考案し、社会に発信していく活動を行っている。 <p>3. チームとしての学校を実現するために必要なコーディネート力、コミュニケーション力の養成に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の教員が、PATH ミーティングやケース会議に関する学生主体の演習を行ってお

り、そのような演習に心理学、養護、生徒指導等を専門とする教員に参加してもらうことを検討中である。

養護教育コース

1. 理論と実践の往還及び習得・活用・探究のサイクルに関する事項

- ・「養護概論Ⅰ」については、開講年次を2年次から1年次に変更し、入学後早くから養護教諭を目指す自覚を持たせるとともに、養護教諭に必要な知識・技量とはどのようなものであるかの概要を早期に理解させることを目指している。
- ・「養護概論Ⅲ」については、3年次の附属学校実習の後に開講し、実習での学びを振り返り、その意味を省察させることとしている。
- ・「教職実践演習（養護教諭）」では、高校保健室を訪問する機会を設けるとともに、現役の高校養護教諭に講演をお願いしている。また、訪問終了後に、訪問先に関する発表会を行うことにより、異なるタイプの高校で経験したことの共有化を図っている。

2. 教科・領域横断的な視点から新たな価値を創出する教育プロジェクトに関する事項

- ・本学部所属学生全員を対象とする「教職保健」では、児童生徒の「生きる力」を育むため、心と体の様々な問題への対応力を強化するという観点から、養護教諭養成、健康教育、公衆衛生、看護教育、医学教育の専門教員が協力し、心の問題、性の問題、健康管理、アレルギー疾患、青少年の疾病等の諸問題について、近年の社会状況の変化を踏まえた授業を実施している。

3. チームとしての学校を実現するために必要なコーディネート力、コミュニケーション力の養成に関する事項

- ・「公衆衛生学」や「公衆衛生学実習」では、学内外の精神科の医師や保健所所長による講義・講演を実施し、学生が学校外の専門家の実践を知る機会を設け、チーム学校における養護教諭の役割を実感をもって理解できるよう工夫している。

【資料 16-1】 初等・中等教育コース（小学校専攻）のカリキュラムマップ

年次	学期	教養教育	専門教育						
			教育の基礎的理解に関する科目等			大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目		卒業論文等
			教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	教育実践に関する科目		教科に関する専門的事項	教科の指導法	
1	前	外国語科目 情報科目 肥後熊野 リベラルアーツ 体育・スポーツ	教育学概論 教育心理学		実習オリエンテーション	教職実践基礎セミナー	小学校音楽 図画工作	初等音楽科教育 図画工作科教育	体系的・段階的学修
	後		教職入門		実習オリエンテーション	本・学部の最新 地域入学者必修	小学校体育 小学校家庭	初等体育科教育 初等家庭科教育	
2	前	外国語科目 リベラルアーツ		教育方法・技術	観察実習	教育実践研究指導法 実習	小学校国語 学校英語	初等国語科教育 初等英語科教育	
	後		教育課程基礎論	教育相談 道徳教育	観察実習	関係づけ・往還	初等社会科教育 算数科教育 初等理科教育 生活科教育		
3	前		教育思想 教育史等	生徒指導	初等教育実習 (附属小学校)	学校教職指導研究 教育臨床体験演習	小学校社会 算数 小学校理科 生活		
	後		特別支援教育原理 人権教育論等	教育評価	初等教育実習 (協力小学校等)	初等教育課題探究			
4	前	深い教養	児童理解 現代的教育課題の解決力		副免実習	教科・領域 横断的視点	教科等の理解 実践的指導力	卒業論文	
	後				教職実践演習 (幼・小)				
			広い視野・コーディネート力・コミュニケーション力			「深い学び」の経験・指導力			

【資料 16-2】 初等・中等教育コース（教科に関する専攻（実技系以外））のカリキュラムマップ

年次	学期	教養教育	専門教育					卒業論文	
			教育の基礎的理解に関する科目等			大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目		
			教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	教育実践に関する科目		教科に関する専門的事項		教科の指導法
1	前	外国語・情報科学 肥後熊野リベラルアーツ 体育・スポーツ	教育学概論 教育心理学		実習オリエンテーション	職業基礎セミナー		体系的・段階的学修	
	後		教職入門		実習オリエンテーション	本・学びの最前線I	関連科目		
2	前	外国語・情報科学 リベラルアーツ		教育方法	理論と実践の	関係づけ・往還	教科に関する専門的事項	中等教科教育法I	
	後		教育課程基礎論	教育相談 道徳教育	観察実習	本・学びの最前線II	教科に関する専門的事項	中等教科教育法II	
3	前		教育思想 教育史等	生徒指導	中等教育実習 (附属中学校)	学校教科指導研究 教育臨床体験演習	教科に関する専門的事項	中等教科教育法III	
	後		特別支援教育原理 人権教育論等	教育評価	中等教育実習 (協力中学校)	教育課題探究	教科に関する専門的事項	中等教科教育法IV	
4	前	深い教養	児童・生徒理解 現代的教育課題の解決力		副免実習	教科・領域 横断的視点	教科等の理解☆ 実践的指導力☆	卒業論文	
	後			教職実践演習 (中・高)					
			広い視野・コーディネート力・コミュニケーション力			「深い学び」の経験・指導力			

【資料 16-3】 初等・中等教育コース（実技系専攻）のカリキュラムマップ

年次	学期	教養教育	専門教育					卒業論文	
			教育の基礎的理解に関する科目等			大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目		
			教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	教育実践に関する科目		教科に関する専門的事項		教科の指導法
1	前	外国語・情報科 肥後熊野 リベラルアーツ 体育・スポーツ	教育学概論		実習オリエンテーション	職業基礎セミナー			
	後		教育心理学		実習オリエンテーション		本・学びの最前線I	各教科に関する専門的事項	
2	前	外国語 リベラルアーツ		教育方法	観察実習	本・学びの最前線II	各教科に関する専門的事項	各教科の指導法I (教科横断を含む)	
	後		教育課程基礎論	教育相談 道徳教育			各教科に関する専門的事項	各教科の指導法II	
3	前		教育思想 教育史等	生徒指導	中等教育実習 (附属中学校)	技系教科指導探究I (育臨床体験演習)	各教科に関する専門的事項	各教科の指導法III (教科横断を含む)	
	後		特別支援教育原理 人権教育論等	教育評価	中等教育実習 (協力中学校)	技系教科指導探究II	各教科に関する専門的事項	各教科の指導法IV	
4	前	深い教養	児童・生徒理解 現代的教育課題の解決力		副免実習	教科・領域 横断的視点	教科等の理解 実践的指導力		卒業論文
	後				教職実践演習 (中・高)				
			広い視野・コーディネート力・コミュニケーション力			「深い学び」の経験			

体系的・段階的学修

体系的・段階的学修

地域の教育現場との連携

理論と実践の

関係づけ・往還

教職実践演習
(中・高)

【資料 17】 特別支援教育コースのカリキュラムマップ

年次	学期	教養教育	専門教育					卒業論文	
			教育の基礎的理解に関する科目等			大学が独自に設定する科目	特別支援教育に関する科目		
			教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	教育実践に関する科目		基礎理論及び領域に関する科目		免許状以外の領域に関する科目
1	前	外国語科目 情報科目 肥後熊野 リベラルアーツ 体育・スポーツ	教育学概論 教育心理学		実習オリエンテーション	職業基礎セミナー 地域との教育現場との連携	基礎理論及び領域に関する科目		体系的・段階的学修
	後		教職入門		実習オリエンテーション		本・学びの最前線I	基礎理論及び領域に関する科目	
2	前	外国語科目 リベラルアーツ		教育方法・ 理論と実践の		関係づけ・往還	基礎理論及び領域に関する科目	免許状以外の領域に関する科目	
	後		教育課程基礎論	教育相談 道徳教育	観察実習		本・学びの最前線II	基礎理論及び領域に関する科目	
3	前		教育思想 教育史等	生徒指導	障害児教育実習 初等/中等教育実	育臨床体験演習	基礎理論及び領域に関する科目	免許状以外の領域に関する科目	
	後		特別支援教育原理 人権教育論等	教育評価	障害児教育実習 初等/中等教育実		基礎理論及び領域に関する科目	免許状以外の領域に関する科目	
4	前	深い教養	児童・生徒理解 現代的教育課題の解決力		副免実習	教科・領域 横断的視点	特別な支援を必要とする 児童・生徒の理解 実践的指導力 リーダーシップ コーディネート力		卒業論文
	後				教職実践演習 (幼・小)(中・高)				
			広い視野・コミュニケーション力						

【資料 18】 養護教育コースのカリキュラムマップ

年次	学期	教養教育	専門教育						
			教育の基礎的理解に関する科目等			大学が独自に設定する科目	養護に関する科目	教科の指導法	卒業論文
			教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	教育実践に関する科目				
1	前	外国語科目 情報科目 肥後熊本学 リベラルアーツ科目 体育・スポーツ	教育学概論 教育心理学		実習オリエンテーション		解剖学 養護概論Ⅰ 衛生学		体系的・段階的学修
	後		教職入門		実習オリエンテーション	本・学びの最前線Ⅰ	生理学、生化学 公衆衛生学Ⅰ		
2	前	外国語科目 リベラルアーツ		教育方法・技術	観察実習	育実践研究指導法 習	微生物学・免疫学 栄養学、外科学他 学校保健Ⅰ 養護概論Ⅱ		
	後		教育課程基礎論	教育相談 道徳教育	観察実習	本・学びの最前線Ⅱ	学校保健Ⅱ 薬理学、内科学他 看護概論Ⅲ	保健科教育法Ⅰ	
3	前		教育思想 教育史等	生徒指導	養護実習 中等教育実習	の連携	看護概論Ⅱ・Ⅲ 実習Ⅰ・Ⅱ 精神保健学、小児科学 学校救急処置Ⅰ・Ⅱ 健康相談・活動演習 公衆衛生学実習	保健科教育法Ⅱ	
	後		個別支援教育原理 人権教育論等	教育評価			予防医学、学校安全 臨床実習Ⅰ・Ⅱ	保健科教育法Ⅲ 保健科教育法Ⅳ	
4	前	深い教養	児童・生徒理解 現代的教育課題の解決力	養護実習 中等教育実習	教科・領域 横断的視点		学校保健Ⅲ 性に関する指導	卒業論文	
	後	広い視野・コミュニケーション力・コーディネート力			教職実践演習		児童・生徒の体と心の 問題の理解 実践的対応力・指導力 健康健康管理、健康教育、 健康相談活動の知識		

【資料 19】 教養教育科目の各科目群の実施方針

外国語科目	国際理解を深め専門知識習得の基礎的手段として重要な外国語力を身につけ、複眼的視点から国際社会を見る眼を培う
情報科目	他者の権利を侵害することなく、情報の収集・発信を行う能力や基本原理を理解した上で情報技術を駆使する能力、ウイルス感染などの緊急事態に対処する能力を身につける
肥後熊本学	熊本の歴史、文化、社会、自然、環境、生命などを学問的視点から見つめ直し、自ら課題を発見し探究する姿勢を身につける
理系基礎科目	数学、物理学、化学などの基礎をより普遍的な知識として身につけ、各分野への柔軟な応用能力を獲得する
体育スポーツ科目	スポーツという文化活動を科学的に学び、それを実践することにより、生涯にわたってスポーツに親しむ資質や能力を身につける
リベラルアーツ科目	伝統的な学問の諸分野についてバランスよく学び、各分野に特有な考え方や方法を知る
現代教育科目	現代社会のダイナミズムに幅広く触れ、未来への希望と学問に対する意欲を高める
Multidisciplinary Studies	現代社会が提起する問題をグローバルな視点から総合的に考える力を身につけるとともに、柔軟かつ論理的な思考力・分析力・英語コミュニケーション力を高める

【資料 20】 教育学部における教養教育の卒業要件単位

科目区分等		単位数	備考
基礎科目	必修外国語科目	8	
	情報科目	2	
	肥後熊本学	1	
	体育スポーツ科学科目	2	
	自由選択外国語科目		
リベラルアーツ科目 現代教育科目 Multidisciplinary Studies キャリア科目 開放科目	16	現代教養科目「暮らしの中の憲法」(2単位)を含めて16単位修得すること。	
計		29	

【資料 21-1】 各分野・講座の教員配置（申請時：令和3年4月現在）

分野	講座	申請時				設置までの予定	
		教授	准教授	講師	計	定年退職	補充
学校教育	教育学	1	4	0	5		
	心理学*	3	2	0	5		
	特別支援教育（専攻科を含む）	2	4	0	6		
養護教育（別科を含む）		4	3	1	8		
教育実践総合センター		1	0	0	1		
言語・社会系教育	国語科教育	1	3	0	4		1
	英語科教育	2	3	0	5		
	社会科教育	3	4	0	7		
理数系教育	数学科教育	2	3	0	5		1
	理科教育	3	3	0	6		
実技系教育	音楽科教育	3	2	0	5	1	
	美術科教育	2	2	0	4		
	保健体育科教育	3	1	0	4		1
	技術科教育	3	1	0	4		
	家庭科教育	3	2	0	5	1	
計		36	37	1	74	2	3
備考		・設置時までの教員補充の予定には、申請時点で着任予定又は選考中、選考開始予定を含む。					

【資料 21-2】 各分野・講座の教員配置予定（設置時：令和4年4月）

分野	講座	設置時				採用手 続市中	設置後～完成の予定	
		教授	准教授	講師	計		定年退職	補充
学校教育	教育学	1	4	0	5		1	13
	心理学*	3	2	0	5			
	特別支援教育（専攻科を含む）	2	4	0	6		2	
養護教育（別科を含む）		4	3	1	8		2	
教育実践総合センター		1	0	0	1		1	
言語・社会系教育	国語科教育	1	4	0	5			
	英語科教育	2	3	0	5			
	社会科教育	3	4	0	7			
理数系教育	数学科教育	2	3	0	5	1	1	
	理科教育	3	3	0	6			
実技系教育	音楽科教育	2	2	0	4		1	
	美術科教育	2	2	0	4		1	
	保健体育科教育	3	1	0	4	1	1	
	技術科教育	3	1	0	4		2	
	家庭科教育	2	2	0	4		1	
計		34	38	1	73	2	13	
備考		<ul style="list-style-type: none"> ・設置後から完成まで、前年度の退職者数に見合う数の教員を順次補充し、全体として設置時の教員数を維持する。 ・各分野・講座の教員配置については、大学設置基準及び教職課程認定基準に鑑み、運営に支障が出ないよう調整する。 						

【資料 22】 国立大学法人熊本大学教員選考基準

○国立大学法人熊本大学教員選考基準

(趣旨)

第 1 条 国立大学法人熊本大学教育職員選考規則(平成 16 年 4 月 1 日制定)第 4 条第 1 項の規定に基づき、熊本大学における教員(教授、准教授、講師、助教及び助手をいう。以下同じ。)の選考は、この基準により行う。

(教授の選考)

第 2 条 教授の選考は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、大学における教育を担当するにふさわしい教育上の能力を有すると認められる者について行う。

- (1) 博士の学位(外国において授与されたこれに相当する学位を含む。)を有し、研究上の業績を有する者
- (2) 研究上の業績が前号の者に準ずると認められる者
- (3) 学位規則(昭和 28 年文部省令第 9 号)第 5 条の 2 に規定する専門職学位(外国において授与されたこれに相当する学位を含む。)を有し、当該専門職学位の専攻分野に関する実務上の業績を有する者
- (4) 大学において教授、准教授又は専任の講師の経歴(外国におけるこれらに相当する教員としての経歴を含む。)のある者
- (5) 芸術、体育等については、特殊な技能に秀でていと認められる者
- (6) 専攻分野について、特に優れた知識及び経験を有すると認められる者

(准教授の選考)

第 3 条 准教授の選考は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、大学における教育を担当するにふさわしい教育上の能力を有すると認められる者について行う。

- (1) 前条各号のいずれかに該当する者
- (2) 大学において助教又はこれに準ずる職員としての経歴(外国におけるこれらに相当する職員としての経歴を含む。)のある者
- (3) 修士の学位又は学位規則第 5 条の 2 に規定する専門職学位(外国において授与されたこれに相当する学位を含む。)を有する者
- (4) 研究所、試験所、調査所等に在職し、研究上の業績を有する者
- (5) 専攻分野について、優れた知識及び経験を有すると認められる者

(講師の選考)

第 4 条 講師の選考は、次の各号のいずれかに該当する者について行う。

- (1) 第 2 条又は前条に規定する教授又は准教授となることのできる者
- (2) その他特殊な専攻分野について、大学における教育を担当するにふさわしい教育上の能力を有すると認められる者

(助教の選考)

第5条 助教の選考は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、大学における教育を担当するにふさわしい教育上の能力を有すると認められる者について行う。

- (1) 第2条各号又は第3条各号のいずれかに該当する者
- (2) 修士の学位(医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を修了した者については、学士の学位)又は学位規則第5条の2に規定する専門職学位(外国において授与されたこれらに相当する学位を含む。)を有する者
- (3) 専攻分野について、知識及び経験を有すると認められる者
(助手の選考)

第6条 助手の選考は、次の各号のいずれかに該当する者について行う。

- (1) 学士の学位(外国において授与されたこれに相当する学位を含む。)を有する者
- (2) 前号の者に準ずる能力を有すると認められる者
(雑則)

第7条 各学部、大学院教育学研究科、大学院各研究部、各研究所、病院、熊本創生推進機構、国立大学法人熊本大学法人基本規則(平成16年4月1日制定)第36条に定める学内共同教育研究施設、ヒトレトロウイルス学共同研究センター及び保健センターにおいて必要がある場合は、学長の承認を得て、この基準に関する内規を定めることができる。

附 則

- 1 この基準は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 この基準の施行の日前に、廃止前の熊本大学教員選考基準(昭和28年4月26日制定)により選考された者については、この基準により選考されたものとみなす。

附 則(平成19年3月26日基準第2号)

この基準は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成21年3月27日基準第4号)

この基準は、平成21年4月1日から施行する。

附 則(平成21年12月24日基準第5号)

この基準は、平成22年1月1日から施行する。

附 則(平成25年3月28日基準第1号)

この基準は、平成25年4月1日から施行する。

附 則(平成27年3月26日基準第1号)

この基準は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成29年3月23日基準第3号)

この基準は、平成29年4月1日から施行する。

附 則(平成31年3月28日基準第2号)

この基準は、平成31年4月1日から施行する。

附 則(令和元年 6 月 27 日基準第 7 号)
この基準は、令和元年 7 月 1 日から施行する。

【資料 23】教育学部及び教育学研究科の教員選考基準

○教育学部及び教育学研究科の教員選考基準

この基準は、国立大学法人熊本大学教員選考基準(平成 16 年 4 月 1 日制定)に基づき、熊本大学教育学部及び大学院教育学研究科における教育職員の選考に関し必要な事項を定める。

第 1 教授の選考は、教職課程認定基準に照らして専任教員としての教育上の能力を有する、次のⅠからⅢのいずれかに該当する者について行う。

Ⅰ. 次の(1)に該当し、さらに(2)又は(3)に該当する者

(1) 次のアからウのいずれかに該当する者

ア 大学における教育歴が概ね 8 年以上あり、教職課程認定基準に鑑み特に優れた教育上の能力を有すること。

イ 大学以外の教育機関における勤務経験が 20 年以上あり、教職課程認定基準に鑑み特に優れた教育上の能力を有すること。

ウ 大学における教育歴と大学以外の教育機関における勤務経験が合わせて 20 年以上あり、教職課程認定基準に鑑み特に優れた教育上の能力を有すること。

(2) 次のアからエの全てに該当する者(別紙換算表に定めがある場合は、イ、ウについては、換算後の数によるものとする。)

ア 博士の学位(外国において授与されたこれに相当する学位を含む。)を有すること。

イ 公表された学術論文数、又は学術論文と学術書の総数が、人文社会科学系及び数学の場合 15 編以上、教科教育学系及び複数の領域に跨る複合領域系の場合 20 編以上、自然科学系・生命科学系(数学を除く。)の場合 30 編以上あること。

ウ 前述イの学術論文については、次の基準を満たすこと。

・人文社会科学系

筆頭著者(First author)又は責任著者(Corresponding author)の査読論文が 5 編以上であること。

・教科教育学系・複合領域系

筆頭著者(First author)又は責任著者(Corresponding author)の査読論文が 7 編以上であること。

・自然科学系・生命科学系

筆頭著者(First author)、第二著者(Second author)、或いは責任著者(Corresponding author)の査読論文が10編以上であること。

エ 採用(昇任)予定年度を除く過去5年間に、官公庁や公的機関の科学研究費補助金、研究助成金等外部資金の獲得実績があること。

(3) 国際的又は全国的な学会賞の受賞や検定教科書の執筆等の卓越した業績又は資格を有し、(2)のイ及びウの基準を満たす者

※国際的又は全国的について

- ・国際的な学会とは、複数の国の会員により構成される学会で、複数の国から会員が参加する大会等を開催しているものをいう。
- ・全国的な学会とは、国内各都道府県又は各ブロックに会員を有し、全国から会員が参加する大会等を開催しているものをいう。

II. 芸術、体育等については、特殊な技能に秀でている、次の(1)から(3)の全てに該当する者

(1) 次のアからウのいずれかに該当する者

ア 大学における教育歴が概ね8年以上あり、教職課程認定基準に鑑み特に優れた教育上の能力を有すること。

イ 大学以外の教育機関における勤務経験が20年以上あり、教職課程認定基準に鑑み特に優れた教育上の能力を有すること。

ウ 大学における教育歴と大学以外の教育機関における勤務経験が合わせて20年以上あり、教職課程認定基準に鑑み特に優れた教育上の能力を有すること。

(2) 次のアからエのいずれかの基準を満たす者

ア (音楽)

国際的又は全国的な演奏会及びコンクール等における演奏若しくは指揮、公表された作品、あるいはそれに準ずる業績が20以上あること。

イ (美術)

国際的又は全国的な展覧会での受賞、入選等、あるいはそれに準ずる業績が20以上あること。

ウ (体育)

国際的又は全国的な大会、競技会での入賞若しくは監督コーチ等の経歴、あるいはそれに準ずる業績が20以上あること。

エ (その他の実技系)

前記の基準と同等の業績を有すること。

※国際的又は全国的について

- ・国際的とは、世界各国若しくは、アジア、アフリカ、欧州、南米、北米等の各地域での予選会等を経て開催される規模の演奏会、展覧会、大会又は広く世界各国から応募が募られる演奏会、展覧会、大会のことをいう。

- ・全国的とは、各都道府県若しくは北海道、東北、関東、甲信越、東海、近畿、中国、四国、九州等の各ブロックでの予選会等を経て開催される全国規模の演奏会、展覧会、大会又は広く全国から応募が募られる演奏会、展覧会、大会のことをいう。

(3) 公表された学術論文数、又は学術論文と学術書の総数が、音楽及び美術については3編以上、体育については12編以上あること。

Ⅲ. 学校現場における特定分野の教育実践について、特に優れた知識及び経験を有し、次の(1)又は(2)に該当し、さらに(3)に該当する者（教職大学院の実務家教員等）

(1) 教員等としての実務経験が20年以上あること。

(2) 教員等としての実務経験と教育行政に従事した経歴が合わせて20年以上あること。

(3) 公表された著書、論文、報告書等が5編以上あること、あるいは教職修士（専門職）等の専門職学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む）を有すること。

第2 准教授の選考は、教職課程認定基準に照らして専任教員としての教育上の能力を有する、次のⅣからⅥのいずれかに該当する者について行う。

Ⅳ. 次の(1)に該当し、さらに(2)又は(3)に該当する者

(1) 次のアからウのいずれかに該当する者

ア 大学における教育歴が概ね4年以上あり、教職課程認定基準に鑑み優れた教育上の能力を有すること。

イ 大学以外の教育機関における勤務経験が10年以上あり、教職課程認定基準に鑑み優れた教育上の能力を有すること。

ウ 大学における教育歴と大学以外の教育機関における勤務経験が合わせて10年以上あり、教職課程認定基準に鑑み優れた教育上の能力を有すること。

(2) 次のアからウの全てに該当する者（別紙換算表に定めがある場合は、イ及びウについては換算後の数によるものとする。）

ア 博士の学位(外国において授与されたこれに相当する学位を含む。)又は修士の学位を有すること。

イ 公表された学術論文数、又は学術論文と学術書の総数が、人文社会科学系及び数学の場合5編以上、教科教育学系及び複数の領域に跨る複合領域系の場合7編以上、自然科学系・生命科学系（数学を除く。）の場合10編以上あること。

ウ 前述イの学術論文については、次の基準を満たすこと。

- ・人文社会科学系

筆頭著者(First author)又は責任著者(Corresponding author)の査読論文が2編以上であること。

- ・教科教育学系・複合領域系

筆頭著者(First author)又は責任著者(Corresponding author)の査読論文が3編以上であること。

- ・自然科学系・生命科学系

筆頭著者(First author)、第二著者(Second author)、或いは責任著者(Corresponding author)の査読論文が4編以上であること。

- (3) 国際的又は全国的な学会賞の受賞や検定教科書の執筆等の卓越した業績又は資格を有し、(2)のイ及びウの基準を満たすこと。

※国際的又は全国的について

- ・国際的な学会とは、複数の国の会員により構成される学会で、複数の国から会員が参加する大会等を開催しているものをいう。
- ・全国的な学会とは、国内各都道府県又は各ブロックに会員を有し、全国から会員が参加する大会等を開催しているものをいう。

V. 芸術、体育等については、特殊な技能に秀でている、次の(1)から(3)の全てに該当する者

- (1) 次のアからウのいずれかに該当する者

ア 大学における教育歴が概ね4年以上あり、教職課程認定基準に鑑み優れた教育上の能力を有すること。

イ 大学以外の教育機関における勤務経験が10年以上あり、教職課程認定基準に鑑み優れた教育上の能力を有すること。

ウ 大学における教育歴と大学以外の教育機関における勤務経験が合わせて10年以上あり、教職課程認定基準に鑑み優れた教育上の能力を有すること。

- (2) 次のアからエのいずれかの基準を満たす者

ア (音楽)

国際的又は全国的な演奏会及びコンクール等における演奏若しくは指揮、公表された作品、あるいはそれに準ずる業績が7以上あること。

イ (美術)

国際的又は全国的な展覧会での受賞、入選等、あるいはそれに準ずる業績が7以上あること。

ウ (体育)

国際的又は全国的な大会、競技会での入賞若しくは監督コーチ等の経歴、あるいはそれに準ずる業績が7以上あること。

エ (その他の実技系)

前記の基準と同等の業績を有すること。

※国際的又は全国的について

- ・国際的とは、世界各国若しくは、アジア、アフリカ、欧州、南米、北米等の各地域での予選会等を経て開催される規模の演奏会、展覧会、大会又は広く世界各国から応募が募られる演奏会、展覧会、大会のことをいう。
- ・全国的とは、各都道府県若しくは北海道、東北、関東、甲信越、東海、近畿、中国、四国、九州等の各ブロックでの予選会等を経て開催される全国規模の演奏会、展覧会、大会又は広く全国から応募が募られる演奏会、展覧会、大会のことをいう。

(3) 公表された学術論文数、又は学術論文と学術書の総数が、音楽及び美術については1編以上、体育については4編以上あること。

VI. 学校現場における特定分野の教育実践について、特に優れた知識及び経験を有し、次の(1)又は(2)に該当し、さらに(3)に該当する者（教職大学院の実務家教員等）

- (1) 教員等としての実務経験が概ね15年以上あること。
- (2) 教員等としての実務経験と教育行政に従事した経歴が合わせて概ね15年以上あること。
- (3) 公表された著書、論文、報告書等が3編以上あること、あるいは教職修士（専門職）等の専門職学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む）を有する者

第3 講師の選考は、教職課程認定基準に照らして専任教員としての教育上の能力を有する、次のVIIからIXのいずれかに該当する者について行う。

VII. 次の(1)に該当し、さらに(2)又は(3)に該当する者

- (1) 教職課程認定基準に鑑み教育上の能力を有すること。
- (2) 次のアからウの全てに該当する者（別紙換算表に定めがある場合は、イ及びウについては換算後の数によるものとする。）

ア 博士の学位(外国において授与されたこれに相当する学位を含む。)又は修士の学位を有すること。

イ 公表された学術論文数、又は学術論文と学術書の総数が、人文社会科学系及び数学の場合3編以上、教科教育学系及び複数の領域に跨る複合領域系の場合4編以上、自然科学系・生命科学系（数学を除く。）の場合5編以上あること。

ウ 前述イの学術論文については、次の基準を満たすこと。

- ・人文社会科学系
筆頭著者(First author)又は責任著者(Corresponding author)の査読論文が1編以上であること。
- ・教科教育学系・複合領域系

筆頭著者(First author)又は責任著者(Corresponding author)の査読論文が2編以上であること。

・自然科学系・生命科学系

筆頭著者(First author)、第二著者(Second author)、或いは責任著者(Corresponding author)の査読論文が2編以上であること。

(3) 国際的又は全国的な学会賞の受賞や検定教科書の執筆等の卓越した業績又は資格を有し、(2)のイ及びウの基準を満たすこと。

※国際的又は全国的について

- ・国際的な学会とは、複数の国の会員により構成される学会で、複数の国から会員が参加する大会等を開催しているものをいう。
- ・全国的な学会とは、国内各都道府県又は各ブロックに会員を有し、全国から会員が参加する大会等を開催しているものをいう。

VIII. 芸術、体育等については、特殊な技能に秀でている、次の(1)から(3)の全てに該当する者

(1) 教職課程認定基準に鑑み教育上の能力を有すること。

(2) 次のアからエのいずれかの基準を満たす者

ア (音楽)

国際的又は全国的な演奏会及びコンクール等における演奏若しくは指揮、公表された作品、あるいはそれに準ずる業績が4以上あること。

イ (美術)

国際的又は全国的な展覧会での受賞、入選等、あるいはそれに準ずる業績が4以上あること。

ウ (体育)

国際的又は全国的な大会、競技会での入賞若しくは監督コーチ等の経歴、あるいはそれに準ずる業績が4以上あること。

エ (その他の実技系)

前記の基準と同等の業績を有すること。

※国際的又は全国的について

- ・国際的とは、世界各国若しくは、アジア、アフリカ、欧州、南米、北米等の各地域での予選会等を経て開催される規模の演奏会、展覧会、大会又は広く世界各国から応募が募られる演奏会、展覧会、大会のことをいう。
- ・全国的とは、各都道府県若しくは北海道、東北、関東、甲信越、東海、近畿、中国、四国、九州等の各ブロックでの予選会等を経て開催される全国規模の演奏会、展覧会、大会又は広く全国から応募が募られる演奏会、展覧会、大会のことをいう。

(3) 公表された学術論文数、又は学術論文と学術書の総数が、音楽及び美術については1編以上、体育については2編以上あること。

【資料 24】 各分野・講座の教員の年齢構成（完成時：令和8年3月）

分野	講座	教員の年齢構成（設置時からの在職者）						採用手 続き中	設置後～完成の予定	
		60～ 65	50～ 59	40～ 49	40 未満	設置までに 補完予定	計		定年 退職	補充
学校教育	教育学	1	2	1	0		4		1	13
	心理学*	2	3	0	0		5			
	特別支援教育（専攻科を含む）	0	2	2	0		4		2	
養護教育（別科を含む）		4	2	0	0		6		2	
教育実践総合センター		-	-	-	-		-		1	
言語・社会 系教育	国語科教育	1	2	1	0	1	5			
	英語科教育	4	1	0	0		5			
	社会科教育	3	2	2	0		7			
理数系 教育	数学科教育	2	0	1	1		4	1	1	
	理科教育	3	3	0	0		6			
実技系 教育	音楽科教育	1	2	0	0		3		1	
	美術科教育	2	1	0	0		3		1	
	保健体育科教育	2	0	1	0		3	1	1	
	技術科教育	2	0	0	0		2		2	
	家庭科教育	1	2	0	0		3		1	
計		28	22	8	1	1	60	2	13	
備考		<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置後から完成まで、前年度の退職者数に見合う数の教員を順次補充し、全体として設置時の教員数を維持する。 ・ 各分野・講座の教員配置については、大学設置基準及び教職課程認定基準に鑑み、運営に支障が出ないよう調整する。 								

【資料 25】 初等・中等教育コース小学校専攻に所属し、副免許として中学校（理科）の取得を希望する場合の履修モデル

年次	学期	教養教育	専門教育								卒業論文等
			教育の基礎的理解に関する科目等			大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目				
			教育の基礎的理解に関する科目	道徳・総合的な学習の時間等に関する科目	教育実践に関する科目		教科に関する専門的事項	教科の指導法	教科に関する専門的事項	教科の指導法	
1	前	外国語科目 情報科目 肥後県立大学 リベラルアーツ科目 体育・スポーツ科目	教育学概論 教育心理学		実習オリエンテーション	教職実践基礎セミナー	小学校音楽 図画工作	初等音楽教育 図画工作教育			
	後		教職入門		実習オリエンテーション	熊本・学びの最前線Ⅰ(地域卒入学者は必修)	小学校体育 小学校家庭	初等体育教育 初等家庭教育			
2	前	外国語科目 リベラルアーツ科目		教育方法・技術	観察実習	教育実践研究指導法実習	小学校国語 小学校英語	初等国語教育 初等英語教育	理科に関する専門的事項	中等理科教育法Ⅰ	
	後		教育課程基礎論	教育相談 道徳教育	観察実習	熊本・学びの最前線Ⅱ(地域卒入学者は必修)		初等社会教育 算数教育 初等理科教育 生活科教育	理科に関する専門的事項	中等理科教育法Ⅱ	
3	前		教育思想 教育史等	生徒指導	初等教育実習(附属小学校)	小学校教科指導探究 教育臨床体験実習	小学校社会 算数 小学校理科 生活		理科に関する専門的事項	中等理科教育法Ⅲ	
	後		特別支援教育原理 入権教育論等	教育評価	初等教育実習(協力小学校等)	初等教育課題探究			理科に関する専門的事項	中等理科教育法Ⅳ	
4	前		必要に応じ追加履修			副免許実習(附属中学校)	必要に応じ追加履修				卒業論文
	後					教職実践実習(幼・小)					
計126/130単位		27/31	12	10	7 副免許 2	4	10	20	副免許 20	副免許 8	6

【資料 26】 初等・中等教育コース実技系専攻に所属し、副免許として小学校の取得を希望する場合の履修モデル

年次	学期	教養教育	専門教育								卒業論文等
			教育の基礎的理解に関する科目等			大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目				
			教育の基礎的理解に関する科目	道徳・総合的な学習の時間等に関する科目	教育実践に関する科目		教科に関する専門的事項	教科の指導法	教科に関する専門的事項	教科の指導法	
1	前	外国語科目 情報科目 肥後熊本学 リベラルアーツ科目 体育・スポーツ科目	教育学概論 教育心理学		実習オリエンテーション	教職実践基礎セミナー	各教科に関する専門的事項		小学校音楽 図画工作	初等音楽教育 図画工作教育	
	後		教職入門		実習オリエンテーション	熊本・学びの最前線I	各教科に関する専門的事項		小学校体育 小学校家庭	初等体育教育 初等家庭教育	
2	前	外国語科目 リベラルアーツ科目		教育方法・技術	観察実習	教育実践研究指導法実習	各教科に関する専門的事項	各教科の指導法I (教科横断を含む)	小学校国語 小学校英語	初等国語教育 初等英語教育	
	後		教育課程基礎論	教育相談 道徳教育	観察実習	熊本・学びの最前線II	各教科に関する専門的事項	各教科の指導法II		初等社会教育 算数教育 初等理科教育 生活教育	
3	前		教育思想 教育史等	生徒指導	中等教育実習 (附属中学校)	実技系教職指導研究I 教育臨床体験実習	各教科に関する専門的事項	各教科の指導法III (教科横断を含む)	小学校社会 算数 小学校理科 生活		
	後		特別支援教育原理 人權教育論等	教育評価	中等教育実習 (協力中学校)	実技系教職指導研究II	各教科に関する専門的事項	各教科の指導法IV			
4	前		必要に応じ追加履修			副免許実習 (附属小学校)		必要に応じ追加履修			
	後					教職実践実習 (中・高)					
計130~134単位		31	12	10	7 副免許 2	2	20~24	8	副免許 10	副免許 20	6

【資料 27】 特別支援教育コースに所属し、基礎免許として小学校を選択した場合の履修モデル

年次	学期	教養教育	専門教育								卒業論文等
			教育の基礎的理解に関する科目等			大学が独自に設定する科目	特別支援教育に関する科目		教科及び教科の指導法に関する科目		
			教育の基礎的理解に関する科目	道徳 総合的な学習の時間等に関する科目	教育実践に関する科目		基礎理論及び領域に関する科目	免許状以外の領域に関する科目	教科に関する専門的事項	教科の指導法	
1	前	外国語科目 情報科目 肥後熊本大学 リベラルアーツ科目 体育・スポーツ科目	教育学概論 教育心理学		実習オリエンテーション	教職実践基礎セミナー	基礎理論及び領域に関する科目		小学校音楽 図画工作	初等音楽教育 図画工作教育	
	後		教職入門		実習オリエンテーション	熊本・学びの最前線 I	基礎理論及び領域に関する科目		小学校体育 小学校家庭	初等体育教育 初等家庭科教育	
2	前	外国語科目 リベラルアーツ科目		教育方法・技術	観察実習	教育実践研究指導 法実習	基礎理論及び領域に関する科目	免許状以外の領域に関する科目	小学校国語 小学校英語	初等国語教育 初等英語教育	
	後		教育課程基礎論	教育相談 道徳教育	観察実習	熊本・学びの最前線 II	基礎理論及び領域に関する科目	免許状以外の領域に関する科目		初等社会科教育 算数科教育 初等理科教育 生活科教育	
3	前		教育思想 教育史等	生徒指導	障害児教育実習 初等/中等教育実習	教育臨材体験実習	基礎理論及び領域に関する科目	免許状以外の領域に関する科目	小学校社会 算数 小学校理科 生活		
	後		特別支援教育原理 人権教育論等	教育評価	障害児教育実習 初等/中等教育実習		基礎理論及び領域に関する科目	免許状以外の領域に関する科目			
4	前		必要に応じ追加履修			副読実習	必要に応じ追加履修				卒業論文
	後		必要に応じ追加履修			教職実践演習 (幼・小(中・高))	必要に応じ追加履修				
計123単位		31	12	10	6 基礎免許4	—	18	6	基礎免許10	基礎免許20	6

【資料 28】 時間割

前学期 学部授業
 1年次の授業はR4年度、2年次の授業はR5年度、3年次の授業はR6年度、4年次の授業はR7年度の開講となります。
 グレーのセルは教養科目です。

曜日	月		火		水		木		金		その他 集中講義など		
	校時	年次	年次	科目名	年次	科目名	年次	科目名	年次	科目名	年次	科目名	
1校時 (08:40 ～ 10:10)	1	情報基礎A	1	初等音楽I組	1	初等音楽I組	1	既修外国語 英語	2	音楽理論A	1	知的障害児指導法 I	
	2	中等理科教育法 I	1	初等音楽II組	1	初等音楽II組	1	既修外国語 英語	2	映画基礎 II	1	博物館実習 I	
	2	音楽科教育法 II	1	図画工作I組	2	英作文 I	2	政治学概説	2	道徳教育特殊講義	1	彫刻基礎 I	
	3	製図 I	2	情報とコンピュータI	2	中等家庭科教育 I	2	博物館資料論	3	博物館教育A組	1-2	デザイン基礎 I	
3	製図 II	2	情報とコンピュータII	2	聴覚障害児教育総論	2	算数科教育B組	3	算数科教育A組	2	野外活動		
3	保育内容(言葉)の理論と方法	2	音楽演習A I	2	社会学特講	3	調理学 I	3	初等理科教育法B組	2	自然地理学特講		
3	地字 I	2	音楽演習A II	2	保健科教育法 III	3	調理学 II	3	博物館教育論	2	音楽演習B III		
4		2	小学校家庭A組	2	保育内容(健康)の理論と方法	3		3-4	倫理学演習 I	2	合奏 II		
		2	博物館展示論	2				3-4	倫理学演習 III	2	映画演習 II		
		3	教育思想	3						2	知的障害児指導法 II		
		3	教育史	3						2	病児の心理・生理・病理		
		3	学校教育と生涯学習	3						2-3	日本史調査実習		
2校時 (10:25 ～ 11:55)	1	既修外国語 英語	1	初修外国語	1	教養科目(数学・体育など)	1	情報基礎A	1	図画工作I組	1	彫刻基礎 I	
	1	既修外国語 英語	1	初修外国語	1	教養科目(数学・体育など)	1	音楽演習 I	1	養護概論 I	1	デザイン基礎 II	
	2	初等社会A組	2	初等体育科教育A組	2	教育方法・技術A組	2	技術基礎実習	2	暮らしの中の憲法A組	2	デザイン基礎 III	
	2	初等社会B組	2	自然地理学概説	2	教育方法・技術B組	2	図画工作科教育A組	2	養護概論 II	2-3	工業演習 I	
	2	初等理科A組	3	初等英語科教育B組	3	日本史特講 I	3	養護概論 III	3	中等国語科教育 III	2-3	家庭電気・機械及び情報処理	
	2	初等理科B組	3	食品学・栄養学	3	日本史特講 II	3	国語学概説 III	3	中等社会科教育(社会・公民) II	3	指療法	
	2	国文学概説 I	3	教育制度特殊講義	3	中等理科教育法 III	3	国語学概説 IV	3	音楽科教育法 III	3	音楽演技 I	
	2	国文学概説 II	3	看護学概説 III	3	中等理科教育法 III	3	経済学特講 I	3	体育社会学	3	音楽演技 II	
	3	体育実技 I	3	体育実技 I	3	学校保健 II	3	初等音楽科教育B組	3	英語学演習 II	3	障害児臨床応用演習 I	
	3	製図 I	3	学校保健 II	3	木材加工 I	3	博物館情報・メディア論	3	教育方法学特殊講義	3	障害児臨床応用演習 II	
	3	学校緊急処置 I	3	木材加工 II	3	木材加工 II	3-4	臨床心理学演習	3	調査統計法	3	障害児臨床応用演習 III	
	3	学校緊急処置 II	3	遠徳教育方法論	3	特別支援教育研究法	3		3	特別支援教育教材開発論	3	障害児臨床応用演習 IV	
			3	保健科教育法 II	4	心理学的支援法	4		4	調査統計法	3	障害児臨床応用演習 V	
			心理学的支援法	4						3	障害児臨床基礎演習		
										3	知的障害児指導法 III		
3校時 (12:55 ～ 14:25)	1	教養科目(数学など)	1	教育心理学A組	1	教養科目	1	教養科目	1	教育学概論A組	1	教育臨床体験演習	
	1	教養科目(数学など)	1	教育心理学B組	1	教養科目	1	教養科目	1	教育学概論B組	1	実技実科指導探究 I	
	2	既修外国語 英語	2	学校保健 I(小児保健を含む。)	2	生涯学習支援論I	2	初等英語A組	2	国語学概説 I	2	実技実科指導探究 II	
	2	既修外国語 英語	3	初等国語科教育A組	3	保健体育科教育 III	3	化学 I	2	国語学概説 II	2	福祉心理学	
	3	生涯学習支援論II	3	初等家庭科教育B組	3	住居学 II a	3	発達心理学	2	中等社会科教育(社会・公民) I	2	保育内容(環境)の理論と方法	
	3	社会教育経営論II	3	漢文学概説 I	3	住居学 II b	3	発達障害児支援論	2	英語音声学	2	関係行状論	
			3	漢文学概説 II	3	教育哲学	3	栄養学(食品学を含む)	2	学校保健 I	2	博物館実習 III	
			3	人文地理学概説 I	3	遠徳教育演習	4	幼児と健康	2	機械 I	2	博物館実習 IV	
			3	人文地理学概説 II				2	幼児と人間関係	2	機械 II	3-4	彫刻演習 I
			3	解剖学講義A				3	算数A組	2	産婦人科学	3-4	彫刻演習 II
			3	解剖学講義B				3	算数B組	3	計算機概論A	3-4	彫刻演習 III
			3	地学実教A				3	算数C組	3	計算機概論B	3-4	デザイン演習 I
			3	地学実教B				3	国語教育特殊講義 I	3	計算機概論C	3-4	デザイン演習 II
		3	木材加工実習 I				3	感情・人格心理学	3	化学実験A	3-4	デザイン演習 III	
		3	木材加工実習 II				3	看護学実習 I	3	化学実験B	4	事前・事後指導	
		3	食物学実教				3	看護学実習 II	3	家庭経営学 I	4	中等教育実習 II	
		3	英語科教育 III				3	健康学実習 III	3	家庭経営学 II	4	養護実習	
		3	健康相談						3	教育社会学特殊講義	4	学校保健 III	
									3	社会・集団・家族心理学	4	公衆衛生学実習	
									3	知的障害児教育課程論	4	心理実習	
									3	公衆衛生学実習	4	卒業論文	
4校時 (14:40 ～ 16:10)	1	教養科目(リサーチ)	1	特別支援教育概論	1	教養科目	1	教養科目(リサーチ)	1	教育学概論A組	1	英語コミュニケーション I	
	1	教養科目(リサーチ)	1	衛生学	1	教養科目	1	教養科目(リサーチ)	1	教育学概論B組	1	音楽演習B I	
	2	国文学概説 II	2	漢文学演習 I	2	体育経営管理論	2	生物学 I	2	心理学概論	1	心理学概論	
	2	代数学序論A	2	漢文学演習 II	2-3	電気 I	2	生物学 II	2	解剖社会学	2	解剖社会学	
	2	代数学序論B	2	世界史概説 I	2-3	電気 II	2-3	病弱児教育総論	2	外科学	2	病弱児教育総論	
	2	基礎生物学A	2	解剖学序論A	3-4	社会科教育演習 I	3-4	社会科教育演習 III	2	代数学講義A	2	人文地理学特講 I	
	2	基礎生物学B	2	解剖学序論B	3-4	社会科教育演習 III	3-4	社会科教育演習 III	2	代数学講義B	2	人文地理学特講 II	
	2	社会学	2	解剖学序論C					3	代数学講義C	2	地誌	
	2	音楽演習 III	2	基礎物理学演習					3	生物学実験A	2	基礎物理学A	
	2	音楽演習 I	2	英語科教育 I					3	生物学実験B	2	基礎物理学B	
	2	芸術科教育法 I	2	合唱 I					3	音楽演技 I	2	基礎物理学C	
											2	基礎物理学D	
											2	基礎物理学E	

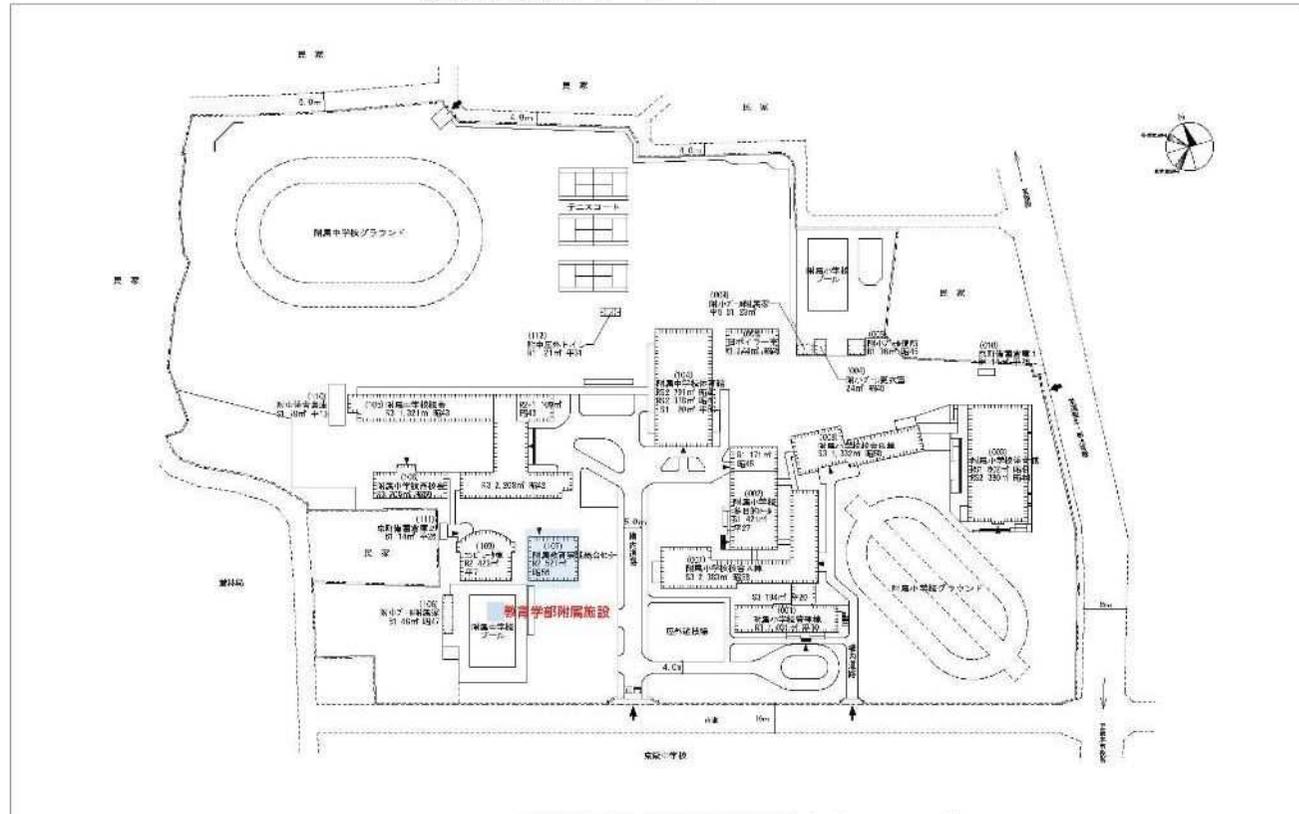
曜日	月		火		水		木		金		その他 集中講義など		
	年次	科目名	年次	科目名	年次	科目名	年次	科目名	年次	科目名	年次	科目名	
4校時 (14:40 ～ 16:10)	2	保健体育科教育Ⅰ	2	美術史			3	美術科教育法Ⅱ	2	英語学Ⅰ			
	2	情報とコンピュータ実習Ⅰ	2	体育実技Ⅰ			3	保健体育科課題研究Ⅰ	2	器楽演習BⅠ			
	2	情報とコンピュータ実習Ⅱ	2	保健体育科教育Ⅱ			3	保健体育科課題研究Ⅲ	2	音楽Ⅰ			
	2	家族関係学	2	栽培実習Ⅰ			3	保健体育科課題研究Ⅴ	2	体育実技Ⅲ			
	2	微生物学・免疫学	2	栽培実習Ⅱ			3	調理実習Ⅱ	2	体育実技Ⅶ			
	3	国際教育演習Ⅰ	2	家政学原論Ⅰ			3	教育制度演習	2	金属加工Ⅰ			
	3	国際教育演習Ⅱ	2	家政学原論Ⅱ			3	看護学実習Ⅰ	2	金属加工Ⅱ			
	3	物理学実験A	2	教育史概説			3	看護学実習Ⅱ	2	被服学概論Ⅰ			
	3	物理学実験B	2	心理統計法			3	神経・生理心理学	2	被服学概論Ⅱ			
	3	英語文学	2	土理学実習			3-4	社会科教育演習Ⅴ	2	心理学研究法			
	3	体育原理	3	国文学講義Ⅲ			3-4	社会科教育演習Ⅶ	2	肢体不自由児指導法			
	3	技術科教育Ⅳ	3	国文学講義Ⅳ					3	国文学演習Ⅰ			
	3	心理学実験Ⅰ	3	情報数学A					3	国文学演習Ⅱ			
	3	小児科学	3	情報数学B					3	中等国語科教育Ⅱ			
			3	地学実験A					3	倫理学特講Ⅰ			
			3	地学実験B					3	倫理学特講Ⅱ			
			3	英語学講義					3	解析学講義A			
			3	合唱Ⅲ					3	解析学講義B			
			3	体育実技Ⅱ					3	化学実験A			
			3	木材加工実習Ⅰ					3	化学実験B			
			3	木材加工実習Ⅱ					3	音楽Ⅲ			
			3	食物学実験					3	作曲演習Ⅰ			
			3	教育史演習					3	体育実技Ⅲ			
			3	教育・学校心理学演習					3	体育実技Ⅶ			
			3	健康相談活動演習					3	心理学研究法			
			3-4	日本史演習Ⅰ					3	公衆衛生学実習			
			3-4	日本史演習Ⅲ					3-4	世界史演習Ⅰ			
			3-4	人文地理学演習Ⅰ					3-4	世界史演習Ⅲ			
			3-4	人文地理学演習Ⅲ					3-4	社会科教育演習Ⅰ			
			3-4	経済学演習Ⅰ					3-4	社会科教育演習Ⅲ			
			3-4	経済学演習Ⅲ									
			4	教育・学校心理学演習									
	5校時 (16:25 ～ 17:55)	1	教養科目	1	知的障害児教育概論	1	化学	1	教養科目	1	器楽演習AⅠ		
		1	教養科目	1	博物館概論	1	教職実践基礎セミナー	1	教養科目	2	人文地理学特講Ⅰ		
2		経済学概説Ⅰ	2	ソルフェージュⅠ	2	書写	2	書写	2	人文地理学特講Ⅱ			
2		経済学概説Ⅱ	2	美術概論	2	法律学概説Ⅰ	2	幼児教育指導法	2	解析学序論A			
2		数学科教育Ⅰ	2	栽培実習Ⅰ	2	法律学概説Ⅱ	2	数学科教育Ⅲ	2	解析学序論B			
2		化学Ⅱ	2	栽培実習Ⅱ	2	保育内容(概論)の理論と方法	3	生物学実験A	2	音楽史Ⅱ			
2		作曲法	2	住居学Ⅰa	4	教職実践演習(幼・小)(中・高)(兼課教員)	3	生物学実験B	2	法律学演習Ⅰ			
2		生理学(運動生理学を含む。)	2	住居学Ⅰb			3	音楽学実習Ⅰ	3	法律学演習Ⅲ			
2		情報とコンピュータ実習Ⅰ	2	教育制度			3	調理実習Ⅱ	3	精神保健学			
2		情報とコンピュータ実習Ⅱ	2	臨床心理学概論					3	小学校教員指導探究			
2		家庭科教育概論	2	生理学実習					3	精神疾患とその治療			
3		保育学Ⅰ	3	生物学Ⅱ					4	基礎地学演習			
3		心理学実験Ⅱ	3	中等家庭科教育Ⅲ									
		3	教育史特殊講義										
6校時 (18:10 ～ 19:40)													

後学期 学部授業
 1年次の授業はR4年度、2年次の授業はR5年度、3年次の授業はR6年度、4年次の授業はR7年度の開講となります。
 グレーのセルは教養科目です。

曜日		月		火		水		木		金		その他 集中講義など	
校時	年次	科目名	年次	科目名	年次	科目名	年次	科目名	年次	科目名	年次	科目名	
1校時 (08.40 ～ 10.10)	1	情報基礎B	1	英語コミュニケーションⅡ	1	音楽史Ⅰ	1	既修外国語 英語	2	初等社会科教育B組	1	器楽演習BⅡ	
	1	音楽科教育法Ⅰ	1	器楽演習AⅡ	1	熊本大学の最前線Ⅰ	1	既修外国語 英語	2	初等理科教育法A組	1-2	彫刻基礎Ⅰ	
	2	倫理学概説Ⅰ	1	特別支援教育史	2	教育相談とキャリア教育A組	2	ソルフェージュⅡ	2	韓国演習Ⅰ	1-2	デザイン基礎Ⅰ	
	2	倫理学概説Ⅱ	2	学校保健Ⅱ(小児保健を含む。)	2	教育相談とキャリア教育B組	2	体育心理学	3	教育評価	2-3-4	教育実践研究指導法演習	
	3	代数学特論	3	数学科教育Ⅳ	3	社会学概説	3	食物学概論Ⅰ	2	器楽演習BⅡ	2	器楽演習BⅡ	
	3	化学基礎研究	3	生活科教育A組	3	社会学特講	3	食物学概論Ⅱ	2	韓国演習Ⅱ	2	韓国演習Ⅱ	
	3	物理学基礎研究	3	生活科教育B組	3	作曲演習Ⅱ	3	博物館資料保存論	2	幼児と環境	2	幼児と環境	
	3	生物学基礎研究	3					化学基礎研究	2	人体の構造と機能及び疾病	2	人体の構造と機能及び疾病	
	3	地学基礎研究	3					音楽科教育法Ⅳ	2	博物館実習Ⅱ	2	博物館実習Ⅱ	
	3	理科教育基礎研究	3						2-3	彫刻基礎Ⅱ	2-3	彫刻基礎Ⅱ	
	4	職業指導	4						2-3	デザイン基礎Ⅱ	2-3	デザイン基礎Ⅱ	
	4		4						3	初等教育実習Ⅰ	3	初等教育実習Ⅰ	
	4		4						3	初等教育実習Ⅱ	3	初等教育実習Ⅱ	
	4		4						3	初等教育実習Ⅲ	3	初等教育実習Ⅲ	
2校時 (10.25 ～ 11.55)	1	既修外国語 英語	1	初修外国語	1	教養科目(体育)	1	情報基礎B	1	体育A組	1	体育A組	
	1	既修外国語 英語	1	初修外国語	1	教養科目(体育)	1	体育学Ⅱb	1	体育B組	1	体育B組	
	2	初等国語科教育B組	2	初等音楽科教育A組	2	初等国語A組	2-3	遠征教育の理論と実践A組	1	生活A組	1	生活A組	
	2	内科学	2	国語工作科教育B組	2	初等国語B組	2	遠征教育の理論と実践B組	1	生活B組	1	生活B組	
	2	初等英語科教育A組	2	体育科教育A組	2	公民衛生学Ⅱ	3	中等社会科教育(社会・地理歴史)Ⅱ	1	生理学	1	生理学	
	3	中等社会科教育(社会・地理歴史)Ⅱ	2	看護学概説Ⅰ	3	中等国語科教育Ⅳ	3	音楽科教育法Ⅳ	1	養護概論Ⅰ	3	養護教育実習	
	3	解剖学特論	3	人権教育論	3	国語教育特殊講義Ⅱ	3	運動学	2	養護概論Ⅱ	3	養護教育実習	
	3	解剖学特論	3	学校経営学	3	国語教育演習Ⅲ	3	養護概論Ⅲ	2	基中の中の憲法B組	3	養護教育実習	
	3	生物学基礎研究	3	技術科教育Ⅱ	3	解析学特論	3	臨床心理学演習	2	中等国語科教育Ⅲ	3	政治学特講	
	3	職業指導	3	教育社会学	3	中等理科教育法Ⅳ	3	臨床心理学演習	3	小学校家庭B組	3	地域実習実習	
	3	家庭経済学	3	保育内容(表現)の理論と方法	3	英語文学演習Ⅰ	4	臨床心理学演習	3	人権教育論	3	音楽実習Ⅱ	
	3	予防医学	3	地学Ⅱ	3	器楽実技AⅡ	3		3	学校経営学	3	電気実習Ⅰ	
	3		4		3	保健科教育法Ⅳ	3		3	教育社会学	3	電気実習Ⅱ	
	3		4		3	知覚・認知心理学	3		3	社会教育演習	3	社会教育演習	
3		4		4	国語教育演習Ⅳ	4		3	障害児臨床応用演習Ⅰ	3	障害児臨床応用演習Ⅰ		
3		4		4	家庭経営学演習	4		3	障害児臨床応用演習Ⅱ	3	障害児臨床応用演習Ⅱ		
3校時 (12.55 ～ 14.25)	1	教養科目(数学など)	1	知的障害児心理学	1	教養科目	1	教養科目(数学など)	1	工業基礎	1	工業基礎	
	1	教養科目(数学など)	1	理科教育実践入門	1	教養科目	1	教養科目(数学など)	2	体育科教育B組	2	体育科教育B組	
	2	既修外国語 英語	1	生化学	2	教育課程基礎論A組	2	初等英語B組	2	初等家庭科教育A組	2	初等家庭科教育A組	
	2	既修外国語 英語	2	生徒指導の理論と方法A組	2	教育課程基礎論B組	2	中等社会科教育(社会・地理歴史)Ⅰ	2	倫理学演習Ⅱ	2	倫理学演習Ⅱ	
	3	特別支援教育原理A組	3	生徒指導の理論と方法B組	3	熊本大学の最前線Ⅱ	2	確率統計学A	3	倫理学演習Ⅳ	3	臨床実習Ⅰ	
	3	特別支援教育原理B組	2-3	社会教育経営論Ⅰ	2-3	産業・組織心理学	2	確率統計学B	3	数学科教育特論B	3	臨床実習Ⅱ	
	3	倫理学演習Ⅱ	3	教育社会学演習	3	世界史特講Ⅰ	3	物理学Ⅰ	3	件法法演習	3	臨床実習Ⅲ	
	3	倫理学演習Ⅳ	3	発達心理学演習	3	世界史特講Ⅱ	2	器楽演習AⅣ	2	韓国演習Ⅲ	3-4	彫刻演習Ⅱ	
	3	解剖学特論	3	学校安全	3	被服科学実験	2	器楽演習AⅡ	3	機械実験実習Ⅰ	3-4	彫刻演習Ⅲ	
	3	音楽学演習Ⅱ	3	初等教育課題探究	3	住居学Ⅲa	2	工業演習Ⅰ	2	機械実験実習Ⅱ	3-4	デザイン演習Ⅰ	
	3	保育学演習Ⅰ	4	自然地理学特講	3	住居学Ⅲb	2	教育哲学演習	2	家庭経済学演習	3-4	デザイン演習Ⅱ	
	4	工業科教育法Ⅱ	4	発達心理学演習	3		3	国文学講義Ⅰ	3	教育哲学特殊講義	3-4	デザイン演習Ⅲ	
	4		4		3		3	国文学講義Ⅱ	4		4	事前・事後指導	
	4		4		3		3	法社会学演習Ⅱ	4		4	社会教育実習	
4		4		3		3	法社会学演習Ⅳ	4		4	心理実習		
4		4		3		3	数学科教育特論A	4		4	心理実習		
4		4		3		3	技術科教育Ⅲ	4		4	卒業論文		
4		4		3		3	住居計画学	4		4			
4		4		3		3	知的障害児発達評価論	4		4			
4		4		3		3	性に關する指導	4		4			
4校時 (14.40 ～ 16.10)	1	教養科目(パッケージ)	1	肢体不自由児教育総論	1	教養科目	1	教養科目(パッケージ)	1	教職入門A組	1	教職入門A組	
	1	教養科目(パッケージ)	1	代数学概論A	1	教養科目	1	教養科目(パッケージ)	1	教職入門B組	1	教職入門B組	
	2	国語学演習Ⅰ	2	代数学概論B	3	被服学実験	2	基礎地学A	2	国文学演習Ⅵ	2	国文学演習Ⅵ	
	2	国語学演習Ⅱ	2	基礎化学A	3	保育内容(人間関係)の理論と方法	2	基礎地学B	2	中等国語科教育Ⅱ	2	中等国語科教育Ⅱ	
	2	国文学演習Ⅳ	2	基礎化学B			2	養護障害児教育総論	2	地誌Ⅱ	2	地誌Ⅱ	
	2	国文学演習Ⅴ	2	英作文Ⅱ			2	整形外科学	2	中等理科教育法Ⅱ	2	中等理科教育法Ⅱ	
	2	哲学概説Ⅰ	2	合唱Ⅱ			2	幼児と言葉	2	英語科教育Ⅱ	2	英語科教育Ⅱ	
	2	哲学特講Ⅰ	2	技術科教育Ⅰ			2	幼児と表現	2	体育実技Ⅴ	2	体育実技Ⅴ	
	2	解剖学概論A	2	調理実習Ⅰ			3	国語学概説Ⅴ	2	体育実技Ⅵ	2	体育実技Ⅵ	
	2	解剖学概論B	2	心理学統計法			3	社会科教育演習Ⅶ	2	木材加工Ⅲ	2	木材加工Ⅲ	
	2	基礎生物学A	2	皮膚科学			3	社会科教育演習Ⅷ	2	木材加工Ⅳ	2	木材加工Ⅳ	
	2		2				3	社会科教育演習Ⅷ	2		2		
	2		2				3	社会科教育演習Ⅷ	2		2		
	2		2				3	社会科教育演習Ⅷ	2		2		
2		2				3	社会科教育演習Ⅷ	2		2			

曜日	月		火		水		木		金		その他 集中講義など		
	校時	年次	科目名	年次	科目名	年次	科目名	年次	科目名	年次	科目名	年次	科目名
4校時 (14:40 ～ 16:10)	2	1	基礎生物学B	3	漢文学講義 I			3	法学学演習 II	2	被服構成実習		
		2	英語学 II	3	英語科教育 IV			3	法学学演習 IV	2	教育・学校心理学		
		2	声楽演習 IV	3	合唱 IV			3	数学科教育特論 A	3	国語学演習 III		
		2	声楽演習 II	3	美術科教育演習 II			3	地学基礎研究	3	数学科教育特論 B		
		2	生理学実験・演習	3	保健体育科教育 IV			3	理科教育基礎研究	3	英語科教育 IV		
		2	中等家庭科教育 II	3	工業科教育法 I			3	声楽実技 II	3	絵画演習 III		
		2	心理学実験	3	住居計画学			3	保健体育科課題研究 II	3	体育実技 V		
		2	保健科教育法 I	3	教育社会学演習			3	保健体育科課題研究 IV	3	体育実技 VI		
		2・3	保育学 II a	3	心理的アセスメント			3	保健体育科課題研究 VI	3	機械実験実習 I		
		3	哲学概説 I	3・4	日本史演習 II			3	技術科教育 III	3	機械実験実習 II		
		3	哲学特講 I	3・4	日本史演習 IV			3	保育学演習 II	3	病弱児指導法		
		3	応用数学特論	3・4	人文地理学演習 II					3	障害者・障害児心理学		
		3	応用数学特論	3・4	人文地理学演習 IV					3・4	世界史演習 II		
		3	異文化理解	3・4	経済学演習 II					3・4	世界史演習 IV		
5校時 (16:25 ～ 17:55)	1	1	教養科目(パッケージ)	1	公衆衛生学 I	1	教職実践基礎セミナー	1	教養科目(パッケージ)	1	音楽理論 B I		
		1	教養科目(パッケージ)	1	声楽演習 II	1	司法・犯罪心理学	1	教養科目(パッケージ)	1	絵画基礎 I		
		2	解析学概論 A	1	博物館経営論	2	耳鼻咽喉科学	2	日本史概説 I	2	哲学概説 I		
		2	解析学概論 B	2	基礎化学演習	2	幼稚園教育課程論	2	日本史概説 II	2	哲学特講 II		
		2	衛生学(公衆衛生学を含む。)	2	薬理学	4	教職実践演習(幼・小)(中・高)(義課教諭)	2	数学科教育 II	2	物理学 II		
		2	心理学実験	2	学習障害児支援論			2	基礎生物学演習	2	体育実技 V		
		2	法律学特講 I	2	幼児理解の理論的方法			2	英語学演習	2	体育実技 VI		
		3	法律学特講 II	3	漢文学講義 II			2	音楽理論 B II	2	栽培 I		
		3	代数学特論	3	日本史演習 II			2	美術科教育演習 I	2	栽培 II		
		3	幾何学演習	3	日本史演習 IV			2・3	健康・医療心理学	2	被服構成実習		
		4	教職保障	3	人文地理学演習 II			3	経済学特講 I	2	教育課程		
				3	人文地理学演習 IV			3	経済学特講 II	2	眼科学		
				3	経済学演習 II			3	解析学演習	3	世界史演習 II		
				3	経済学演習 IV			3	応用数学特論	3	世界史演習 IV		
		3	応用数学演習			3	物理学基礎研究	3	哲学概説 II				
		3	数学科教育 IV			3	保健体育科課題研究 II	3	哲学特講 II				
		3	英語学課題研究			3	保健体育科課題研究 IV	3	代数学演習				
		3	英語文学課題研究			3	保健体育科課題研究 VI	3	解析学特論				
		3	英語科教育課題研究			3	教育方法学演習	3	体育実技 V				
		3	保健体育科教育 IV					3	体育実技 VI				
		3	工業科教育法 I					4	体育実技 DC				
		3	心理的アセスメント										
		4	国文学演習 III										
6校時 (18:10 ～ 19:40)						1	公認心理師の職表						
						2	学習・言語心理学						

熊本大学京町地区 配 置 図



京町団地 配置図 A3 : S=1/1,200

国地番号	道 地 番	所在 地 番	学校番号	学 校 名	作成年度
005	京 町	熊本市中京町本丁5番12号	0384	熊本大学	R2